



住まい探しは
ハトマーク

9月23日は不動産の日
「不動産の日アンケート」
住居の居住志向及び購買等に関する意識調査

2022年2月

(公 社) 全 国 宅 地 建 物 取 引 業 協 会 連 合 会
(公 社) 全 国 宅 地 建 物 取 引 業 保 証 協 会

全宅連、全宅保証では、協会活動を一般消費者の方に理解していただくため、9月23日を「不動産の日」と定め、広く一般消費者に周知しておりますが、この度、2021年9月23日～11月30日までホームページを活用した一般消費者向け不動産に関する意識調査を実施し、調査結果がまとまりましたので発表します。

◆（公社）全国宅地建物取引業協会連合会〔略称「全宅連」〕（会長 坂本 久）
全宅連は、法律（宅地建物取引業法）に規定された唯一の全国業者組織です。
不動産業界のなかで最大の業者団体で、免許を受けた全国の宅地建物取引業者の約8割が加盟している団体で、会員である全国47都道府県の社団法人宅地建物取引業協会を通じて、傘下業者の指導育成に努めるとともに、住宅・宅地政策の改善や流通の促進に積極的に取り組んでいます。

◆（公社）全国宅地建物取引業保証協会〔略称「全宅保証」〕（会長 坂本 久）
全宅連を母体として、宅地建物取引業法に基づき設立された保証機関で、全宅保証の主な業務は、消費者からの苦情の解決、会員業者の研修、取引で生じた損害に対する弁済業務の他、手付金等保管事業、宅地建物取引業の健全な発達と資質の向上および消費者の保護を図る業務を行っています。

■調査実施概要	4 P
■調査結果概略	6 P
■調査結果	
Q 1. いま、不動産は買い時だと思いますか？	11 P
Q 1 - A. 買い時だと思う最も近い理由は何ですか？	12 P
Q 1 - B. 買い時だと思わない最も近い理由は何ですか？	13 P
Q 2. あなたは「持ち家派」「賃貸派」どちらですか？（現在のお住まいに関係なく）	14 P
Q 2 - A. 「持ち家派」（一戸建て/マンション・集合住宅含む）の理由を教えてください。	15 P
Q 2 - B. 「賃貸派」（一戸建て/マンション・集合住宅含む）の理由を教えてください。	16 P
Q 3. 住宅を購入するときのポイントはなんですか？	17 P
Q 4. 住宅を借りるときのポイントはなんですか？	18 P
Q 5. 賃貸物件を借りる際、不安に感じることは何ですか？	19 P
Q 6. 天災に対する住まいの意識について当てはまるものを選択してください。	20 P
Q 7. 住まい選びの際、天災への対策として重要視するポイントは何ですか？	21 P
Q 8. ハザードマップについてどの程度知ってますか？	22 P
Q 9. 既存住宅（中古住宅）に抵抗はありますか？	23 P
Q 10. 物件情報はどこから入手しますか？	24 P
Q 11. 物件情報の入手の際、基本情報以外に「あると便利」な情報は何か？	25 P
Q 12. あなたの住まいに対する考えに近いものを選択してください。	26 P
Q 13. 「新型コロナウイルス」の影響による緊急事態宣言下において住み替えを検討または実施しましたか？	27 P
Q 13 - A. 住み替えを検討・実施されたのは、どれに該当しますか？【居住形態】※持ち家・賃貸	28 P
Q 13 - B. 住み替えを検討・実施されたのは、どれに該当しますか？【居住地域】	29 P
Q 13 - C. 住み替えを検討・実施されたのは、どれに該当しますか？【居住形態】※戸建て・集合住宅	30 P
Q 13 - D. 住み替えを検討・実施された理由（重視された点）は何ですか？	31 P
Q 14. 「新型コロナウイルス」の影響により、住まいの設備で導入を検討・実施したものは何か？	32 P
Q 15. 「新型コロナウイルス」の影響により、今後不動産店に対して期待するサービスは何ですか？	33 P
Q 16. 不動産取引における押印廃止・電子契約などが2022年5月より本格的に稼働することを知っていますか？	34 P
Q 17. あなたの不動産店に対するイメージとその理由をお答えください。	35 P
Q 18. 家の売買や部屋の賃貸をするとき等、不動産店に対して最も期待することは何か？	36 P
Q 19. 家の売買や部屋の賃貸をするとき等、不動産店の担当者に対して最も期待することは何か？	37 P
Q 20. 安全な不動産取引ができるお店の証、ハトマークを知っていますか？	38 P

<<住宅の居住志向及び購買等に関する意識調査 実施概要>>

■調査期間：2021年9月23日～11月30日

■調査方法：インターネットによるアンケート調査

■調査対象：地域 日本全国
 年齢 20歳以上
 性別 男女その他

■有効回答者数：23,349件

■回答者内訳

◆性別／年代（人）

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
全体	23349	1070	2553	4716	6618	8392
男性	14367	343	920	2369	4167	6568
女性	8762	699	1596	2273	2406	1788
その他	220	28	37	74	45	36

◆職業（人）

	全体	会社員	公務員	自営業	主婦	学生	その他
全体	23349	9843	728	2720	3862	182	6014
男性	14367	6886	582	2222	74	74	4529
女性	8762	2884	145	467	3754	84	1428
その他	220	73	1	31	34	24	57

◆地域ブロック／県（人）

	北海道
北海道	1152

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
東北	1269	192	168	382	148	206

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
関東	9004	422	264	277	1352	1249	2031

	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
中部	4011	340	164	180	110	128	296	321	619	1536

	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
近畿	4259	225	534	1890	1144	292

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
中国	1240	90	81	353	507

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
四国	597	93	175	259

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
九州・沖縄	1817	778	88	169	206	142	119	154

<<住宅の居住志向及び購買等に関する意識調査 実施概要>>

回答者内訳

◆ 現在のお住まいの形態（戸建／マンション）（人）

	全体	一戸建て	マンション・ 集合住宅	その他
全体	23349	13768	9348	233
男性	14367	8917	5312	138
女性	8762	4728	3955	79
その他	220	123	81	16
20代	1070	411	655	4
30代	2553	1249	1282	22
40代	4716	2673	1990	53
50代	6618	3841	2703	74
60代以上	8392	5594	2718	80
北海道	1152	619	520	13
東北	1269	889	353	27
関東	9004	4538	4393	73
中部	4011	2918	1057	36
近畿	4259	2418	1803	38
中国	1240	906	320	14
四国	597	450	142	5
九州・沖縄	1817	1030	760	27

◆ 現在のお住まいの形態（形態）（人）

	全体	持ち家	賃貸	社宅	その他
全体	23349	16690	6134	304	221
男性	14367	10795	3269	165	138
女性	8762	5789	2783	121	69
その他	220	106	82	18	14
20代	1070	431	584	46	9
30代	2553	1415	1063	57	18
40代	4716	3090	1495	77	54
50代	6618	4774	1691	75	78
60代以上	8392	6980	1301	49	62
北海道	1152	726	397	19	10
東北	1269	900	327	28	14
関東	9004	6246	2546	124	88
中部	4011	3120	810	45	36
近畿	4259	3116	1074	37	32
中国	1240	940	273	15	12
四国	597	462	123	7	5
九州・沖縄	1817	1180	584	29	24

◆ 現在のお住まいの形態（広さ）（人）

	全体	ワンルーム ～1DK	2K～2LDK	3K～3LDK	4K～4LDK	5K～5LDK	6K以上
全体	23349	1927	3662	6713	5672	2803	2572
男性	14367	1084	1972	3945	3656	1910	1800
女性	8762	804	1648	2706	1987	874	743
その他	220	39	42	62	29	19	29
20代	1070	299	283	247	135	59	47
30代	2553	356	646	709	479	148	215
40代	4716	487	827	1490	1129	408	375
50代	6618	476	1008	2063	1642	765	664
60代以上	8392	309	898	2204	2287	1423	1271
北海道	1152	137	204	322	317	110	62
東北	1269	87	178	280	307	209	208
関東	9004	939	1639	2903	2125	804	594
中部	4011	228	502	902	980	626	773
近畿	4259	311	596	1312	1088	525	427
中国	1240	64	152	288	296	209	231
四国	597	29	82	165	132	97	92
九州・沖縄	1817	132	309	541	427	223	185

◆ 現在のお住まいの形態（居住年数）（人）

	全体	1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～12年	13～15年	16年以上
全体	23349	548	2106	2212	1799	2249	1748	12687
男性	14367	232	963	1177	999	1351	997	8648
女性	8762	308	1119	1004	781	869	734	3947
その他	220	8	24	31	19	29	17	92
20代	1070	179	340	161	39	57	56	238
30代	2553	193	612	507	380	211	96	554
40代	4716	86	448	600	554	764	484	1780
50代	6618	46	382	497	449	671	621	3952
60代以上	8392	44	324	447	377	546	491	6163
北海道	1152	37	108	138	95	105	98	571
東北	1269	27	118	143	102	126	87	666
関東	9004	236	876	923	698	955	689	4627
中部	4011	79	332	330	340	348	266	2316
近畿	4259	72	316	343	291	414	337	2486
中国	1240	31	101	110	60	100	101	737
四国	597	12	64	40	43	43	42	353
九州・沖縄	1817	54	191	185	170	158	128	931

■ 不動産の買い時

- ・2021年度調査においては、「買い時だと思う」10.5%、「買い時だと思わない」25.6%、「分からない」63.9%となった。2020年度と比較して「買い時だと思う」が6.8pt減少、「買い時だと思わない」はほぼ横ばいの0.1pt増加、「分からない」が6.6pt増加となり買い時感が薄れる結果となった。
- ・買い時だと思う理由では、「住宅ローン減税など住宅取得の為の支援制度が充実しているから」が41.4%と最も多く挙げられ、「不動産価値が安定または上昇しそうだから」が25.4%と続く。
- ・買い時だと思わない理由では、「不動産価値（価格）が下落しそうだから」が28.8%と最も多かった。

買い時だと思う	買い時だと思わない	分からない
10.5% (-6.8pt)	25.6% (+0.1pt)	63.9% (+6.6pt)
買い時だと思う理由TOP 3		買い時だと思わない理由TOP 3
住宅ローン減税など住宅取得の為の支援制度が充実しているから 41.4% (+4.8pt)		不動産価値（価格）が下落しそうだから 28.8% (-2.5pt)
不動産価値（価格）が安定または上昇しそうだから 25.4% (+2.9pt)		自分の収入が不安定または減少しているから 26.5% (+2.1pt)
今後、住宅ローンの金利が上昇しそうなので（今の金利が低いので） 22.5% (-0.3pt)		地震や水害などの天災が心配だから 9.6% (+1.4pt)

■ 持ち家派 or 賃貸派（現居住形態問わず）

- ・「持ち家派」は79.6%と全体の約8割を占めている。
- ・持ち家派の理由は「家賃を支払い続けることが無駄に思えるから」が50.9%と過半数を超えた。
- ・賃貸派の理由は「住宅ローンに縛られたくないから」が41.6%と最も多かった。

持ち家派	賃貸派
79.6% (+5.1pt)	20.4% (-5.1pt)
持ち家派 理由 TOP 3	賃貸派 理由 TOP 3
家賃を払い続けることが無駄に思えるから50.9% (+0.7pt)	住宅ローンに縛られたくないから 41.6% (+5.0pt)
落ち着きたいから 31.6% (-0.1pt)	天災が起こった時に家を所有していることがリスクになると思うから 32.2% (+2.0pt)
持ち家を資産と考えているから 28.8% (+0.8pt)	税金が大変だから 24.4% (-12.7pt)

■ 住宅購入重視点／賃貸重視点

- ・住宅購入時に重視する点について、「購入金額」が55.9%、「周辺・生活環境がよい」が45.3%
- ・賃貸時に重視する点については「家賃」が70.3%と最も多く挙げられた。
- ・住宅購入重視点、賃貸重視点ともに、経済的側面が重視されており、ともに2020年度から増加した。

住宅購入重視点	賃貸重視点
購入金額 55.9% (+2.4pt)	家賃 70.3% (+4.6pt)
周辺・生活環境がよい 45.3% (+2.0pt)	交通の利便性がよい 45.2% (-1.1pt)
交通の利便性がよい 35.7% (-1.4pt)	周辺・生活環境がよい 35.5% (-5.1pt)

■ 賃貸物件契約時の不安

- ・「近隣住民との付き合い方」が34.7%と最も多く挙げられ、僅差で「家賃を払い続けることができるか」が32.6%で次点となった。

賃貸契約時の不安 TOP3	
近隣住民との付き合い方	34.7%
家賃を払い続けることができるか	32.6%
退去の際、どのくらい費用がかかるか	25.5%

■ 天災に対する住まいの意識

- ・「築年数や構造（免震・耐震）について考えるようになった」が44.9%と最も多く、次いで「緊急避難場所や防災マップ・ハザードマップを意識するようになった」が39.3%となった。
- ・TOP3の理由は2020年度に比べてすべて増加した。

天災に対する住まいの意識 TOP3	
築年数や構造（免震・耐震）について考えるようになった	44.9% (+5.6pt)
緊急避難場所や防災マップ・ハザードマップを意識するようになった	39.3% (+4.1pt)
地盤などの状況を意識するようになった	31.0% (+4.1pt)

■ 天災への対策として重要視するポイント

- ・「構造（免震・耐震性）」が60.6%、「立地（地盤の強度）」が55.4%と、それぞれ過半数を超えた。
- ・地震に対する対策が重要視されていることが顕著に表れていることが見てとれる。

天災への対策として重要視するポイント TOP3	
構造（免震・耐震性）	60.6% (+3.4pt)
立地（地盤の強度）	55.4% (+4.4pt)
築年数	38.0% (+3.1pt)

■ ハザードマップの認知・理解

- ・「住んでいる地域のハザードマップを見たことがある」が48.3%で最多。
- ・「聞いたことがあり内容も知っている」が37.7%と次いで、認知関心が高いことが見てとれる。

ハザードマップの認知・理解 TOP3	
住んでいる地域のハザードマップを見たことがある	48.3%
聞いたことがあり内容も知っている	37.7%
住んでいる地域のハザードマップを実際に調べたことがある	27.5%

■ 既存住宅（中古住宅）への抵抗感

- ・「まったく抵抗がない」と答えたのは13.4%、「きれいであれば抵抗はない」が35.2%、あわせて48.6%と半数近くが抵抗感が薄い結果となったが、2020年度からは減少した。
- ・条件次第の「売買金額と状態のバランスを見て判断する」が36.3%が最も多い結果となった。
- ・「どんな状態であろうと抵抗がある」のは15.2%、2020年度からは微増となった。

まったく抵抗がない	きれいであれば抵抗はない	売買金額と状態の バランスを見て判断する	どんな状態であろうと抵抗がある
13.4% (-0.8pt)	35.2% (-4.3pt)	36.3% (+4.0pt)	15.2% (+1.2pt)

■ 物件情報入手経路

- ・「インターネット」が71.7%と最も多く挙げられ、2020年度から10.8pt増加した。
- ・大きく間をあけて「不動産店へ直接行く」が33.7%で次点となった。
- ・2020年度6位だった「スマホアプリ」が「新聞広告」を抜いて5位に。

物件情報入手経路 TOP3	
インターネット	71.7% (+10.8pt)
不動産店へ直接行く	33.7% (+1.5pt)
新聞折込チラシ	24.5% (-0.7pt)

■ 物件情報入手の際、「あると便利」な情報

- ・「物件の写真」が67.9%と最も多く挙げられ、「周辺物件の相場」が43.6%、「物件紹介の動画」が31.6%と続き、物件の写真や動画といった視覚的情報や、周辺物件の相場が求められている傾向にある。

物件情報入手の際、基本情報以外に「あると便利」な情報 TOP3	
物件の写真	67.9% (+2.0pt)
周辺物件の相場	43.6% (-0.7pt)
物件紹介の動画	31.6% (-1.2pt)

■ 住環境への意識

- ・「好きなときに転居しやすい住環境が良い」が30.6%と2020年度より1.9pt増加しトップとなった。
- ・2020年度トップだった「田舎での生活など自然のある住環境が良い」は30.1%でその差は僅差（0.5pt）。
- ・「親世帯と子世帯が近い距離で暮らせる住環境が良い」が26.7%と続く。

住環境への意識 TOP3	
好きなときに転居しやすい住環境が良い	30.6% (+1.9pt)
田舎での生活など自然のある住環境が良い	30.1% (-1.5pt)
親世帯と子世帯が近い距離で暮らせる住環境が良い	26.7% (-2.3pt)

■ 「新型コロナウイルス」の影響による住み替えの検討

- ・「既に住み替えた」が2.8%、「住み替えを検討した」が5.2%で、あわせて8.0%が住み替えを実施または検討したと回答した。

既に住み替えた	住み替えを検討した	一度検討したが 実施することをやめた※	特に検討していない
2.8% (-0.3pt)	5.2% (-1.1pt)	5.0%	87.0% (-3.6pt)

※今年度より設問を追加

■ 「新型コロナウイルス」により住み替えを検討・実施した居住形態 ※持ち家・賃貸

- ・「持ち家から持ち家（新築）」が25.2%と最も高く、次いで「賃貸から賃貸」が21.1%と続く。
- ・「賃貸から賃貸」が2020年度比+3.3ptで一番昨年比増加が多く、「賃貸から持ち家（新築）」が-3.3ptで減少が一番多かった。

持ち家から 持ち家（新築）	持ち家から 持ち家（中古）	持ち家から賃貸	賃貸から 持ち家（新築）	賃貸から 持ち家（中古）	賃貸から賃貸
25.2% (+0.1pt)	12.6% (+1.3pt)	13.1% (-1.3pt)	16.8% (-3.3pt)	11.2% (-0.1pt)	21.1% (+3.3pt)

■「新型コロナウイルス」により住み替えを検討・実施した地域

- ・「郊外から郊外」が35.3%と最も高く、次いで「都市部から都市部」が32.7%と続く。
- ・2020年度と比較すると若干の割合の変化はあるものの、多く挙げられた選択肢の順位は変わらなかった。

郊外から郊外	都市部から都市部	都市部から郊外	郊外から都市部
35.3% (-0.7pt)	32.7% (+2.1pt)	16.4% (-1.0pt)	15.6% (-0.4pt)

■「新型コロナウイルス」により住み替えを検討・実施した居住形態 ※戸建て・集合住宅

- ・「戸建てから戸建て」が32.1%と最も高く、次いで「集合住宅から集合住宅」が27.7%と続く。
- ・戸建てへの住み替え意向は合わせて57.3%と過半数を超えた。

戸建て→戸建て	集合住宅→集合住宅	集合住宅→戸建て	戸建て→集合住宅
32.1%	27.7%	25.2%	15.0%

■「新型コロナウイルス」による住み替えを検討・実施で重視したポイント

- ・「最寄り駅からの距離」が32.4%と最も多く挙げられた。
- ・「ローンや賃料等、住宅費を抑えること」は27.4%だが2020年度と比べると-5.8ptと大きく減少している。

「新型コロナウイルス」による住み替えを検討・実施で重視したポイント TOP3	
最寄りの駅からの距離	32.4% (-0.9pt)
ローンや賃料等、住宅費を抑えること	27.4% (-5.8pt)
通勤の利便性	23.7% (-2.5pt)

■「新型コロナウイルス」により導入を検討・実施した住まいの設備

- ・「インターネット（Wi-Fi）環境」が20.9%と最も高く、次いで「空気清浄機」が19.1%となり、1位・2位は2020年度と変わらなかった。
- ・2020年度の3位は「宅配ボックス」だったが、2021年度は6位となり大きく順位は低下した。

「新型コロナウイルス」により導入を検討・実施した住まいの設備TOP3	
インターネット（Wi-Fi）環境	20.9% (-9.8pt)
空気清浄機	19.1% (-3.2pt)
パソコンやモニター、プリンターなどの機器	13.5% (-1.9pt)

■「新型コロナウイルス」の影響により不動産店へ最も期待するサービス

- ・「非接触で内見ができるセルフ内見」が33.2%と最も高く挙げられた。
- ・「チャットやWeb対話など、オンラインツールによる対応」は28.2%。2020年度と比較すると+12.6ptとなり、大きく増加した。

「新型コロナウイルス」による不動産店へ最も期待するサービス TOP3	
非接触で内見ができるセルフ内見	33.2% (-9.3pt)
チャットやWeb対話など、オンラインツールによる対応	28.2% (+12.6pt)
リモートによる遠隔の物件案内	27.1% (-9.0pt)

■ 不動産取引における押印廃止、電子契約の本格稼働への認知・理解

- ・「知っている」と答えたのは10.1%と約1割にとどまった。
- ・約半数の48.7%は「知らない・興味がない」と回答した。

知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことはないが興味はある	知らない・興味がない
10.1%	21.7%	19.5%	48.7%

■ 不動産店に対するイメージ

- ・「良い・計」が23.8%となっており2020年度より微増（+0.7pt）。
- ・「普通」が54.5%（+3.7pt）と増加し全体の約半数。「悪い・計」が21.7%で2020年度と比較し-4.4ptとなり、不動産店のイメージが昨年と比較し改善していることが分かる。

不動産店に対するイメージ	
良い・計	23.8%（+0.7pt）
普通	54.5%（+3.7pt）
悪い・計	21.7%（-4.4pt）

■ 不動産店に対して、最も期待すること

- ・「優秀な担当者」が41.3%と最も多く挙げられ、次いで「店舗の雰囲気が良い」が15.0%となっている。昨年から引き続き“担当者”への期待が突出している結果となった。

不動産店に対して、最も期待すること	
優秀な担当者	41.3%（+4.1pt）
店舗の雰囲気が良い	15.0%（+0.4pt）
ネット情報や口コミなどで評判が良い	10.6%（-1.1pt）

■ 不動産店の担当者に対して、最も期待すること

- ・「わかりやすい説明」が32.4%と最も多く挙げられた。
- ・業務のスキルや専門知識とともに、接客態度についても重視していることが分かる。

不動産店の担当者に対して、最も期待すること	
わかりやすい説明	32.4%
メリットだけではなく、全て隠さず情報を伝えてくれること	21.4%
丁寧な接客	16.2%

■ ハトマークの認知

- ・「見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている」は2020年度と比べて+8.0ptと大きく高まり33.0%となった。
- ・「見たことはあるが何のマークか知らない」は-8.3ptとなり、認知が理解に移行している状況が伺える。

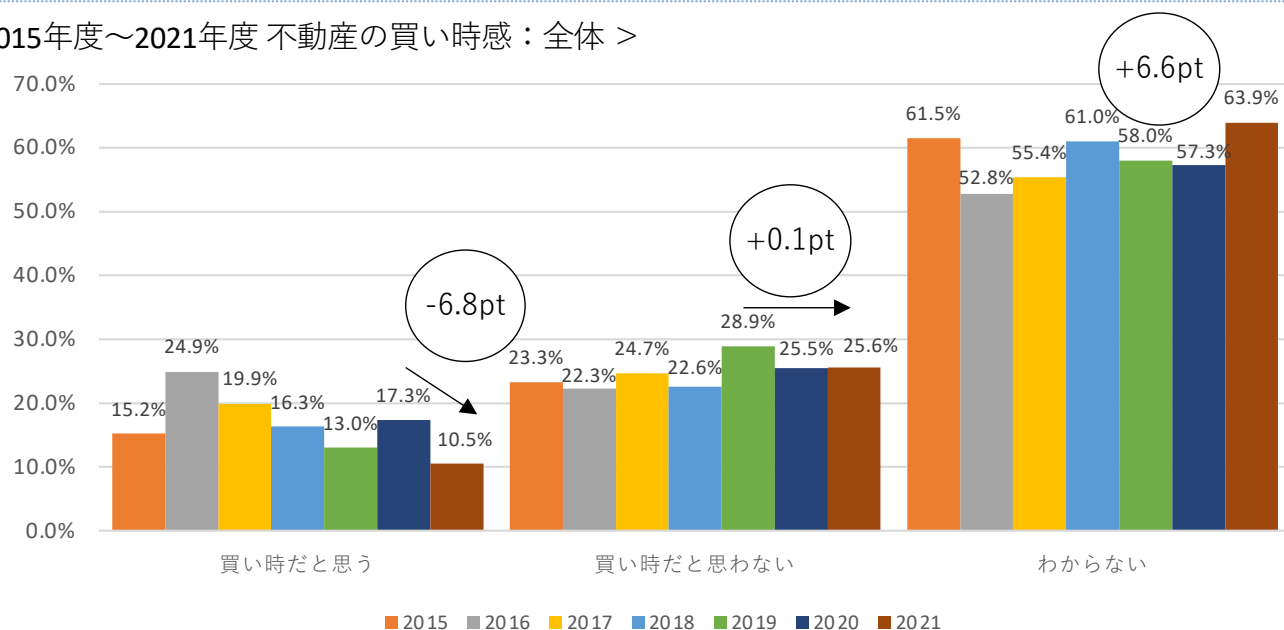
ハトマークの認知	
見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている	33.0%（+8.0pt）
見たことがあるが何のマークか知らない	34.1%（-8.3pt）
見たことがないし何のマークか知らない	32.8%（+0.2pt）

Q 1. いま、不動産は買い時だと思いますか？（1つ選択）

- 「買い時だと思う」が過去最低水準、「買い時だと思わない」は横ばい。
- 「買い時だと思う」10.5%（-6.8pt）／「買い時だと思わない」25.6%（+0.1pt）

- ◆ 2021年度調査においては「買い時だと思う」10.5%、「買い時だと思わない」25.6%、「分からない」63.9%となった。
- ◆ 2020年度は買い時感が強まったが、2021年度は「買い時だと思う」が6.8pt減少し、過去最低水準となった。
- ◆ 「分からない」の回答は過去最高水準の数値となり、判断が困難な状況にあることが感じ取れる。
- ◆ 男性の回答においては「買い時だと思う」が2020年度より半減し、「買い時と思わない」が増えた。
- ◆ 「買い時だと思う」の回答は、2020年度に比べ20代が大幅に減少し、若い世代ほど減少傾向にある。

< 2015年度～2021年度 不動産の買い時感：全体 >



	買い時だと思う							買い時だと思わない							分からない						
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
全体	15.2%	24.9%	19.9%	16.3%	13.0%	17.3%	10.5%	23.3%	22.3%	24.7%	22.6%	28.9%	25.5%	25.6%	61.5%	52.8%	55.4%	61.0%	58.0%	57.3%	63.9%
■性別																					
男性	15.2%	28.1%	20.9%	14.9%	11.8%	20.8%	10.6%	6.3%	24.9%	28.0%	25.9%	32.1%	25.8%	27.6%	58.4%	47.0%	51.0%	59.2%	56.1%	53.5%	61.8%
女性	15.2%	22.3%	19.0%	17.8%	14.2%	11.4%	10.4%	19.4%	20.3%	21.8%	18.9%	25.8%	24.7%	22.1%	65.4%	57.5%	59.2%	63.3%	60.0%	63.9%	67.5%
その他	-	-	-	18.1%	15.8%	15.1%	10.0%	-	-	-	30.0%	29.1%	38.1%	31.8%	-	-	-	51.9%	55.1%	46.8%	58.2%
■年代																					
20代	17.5%	24.3%	21.7%	27.6%	22.9%	44.7%	18.1%	29.0%	27.1%	27.8%	22.5%	29.6%	20.6%	29.1%	53.6%	48.5%	50.6%	49.9%	47.5%	34.7%	52.8%
30代	22.8%	29.4%	24.6%	23.7%	19.1%	28.0%	16.5%	21.8%	21.9%	24.6%	25.1%	30.2%	26.5%	30.9%	55.4%	58.7%	50.7%	51.3%	50.7%	45.5%	52.6%
40代	14.7%	24.2%	20.0%	16.4%	12.7%	19.0%	13.1%	21.9%	20.6%	23.1%	22.4%	28.5%	26.7%	26.8%	63.4%	55.2%	56.9%	61.2%	58.8%	54.3%	60.1%
50代	12.2%	21.7%	15.0%	12.4%	8.7%	14.2%	8.4%	23.8%	20.0%	24.3%	22.4%	28.3%	24.5%	24.9%	64.0%	58.3%	60.7%	65.3%	62.9%	61.2%	66.7%
60代以上	11.7%	19.9%	14.5%	11.6%	7.9%	8.3%	8.0%	23.0%	21.3%	23.9%	21.6%	28.6%	26.1%	23.3%	65.3%	58.8%	61.6%	66.9%	63.5%	65.6%	68.7%
■地域																					
北海道	13.4%	20.9%	19.2%	16.5%	15.2%	11.8%	11.5%	21.6%	24.0%	27.9%	24.2%	27.4%	23.5%	24.3%	65.1%	55.1%	52.9%	59.3%	57.4%	64.7%	64.2%
東北	14.5%	24.1%	19.9%	17.7%	12.4%	12.2%	10.9%	24.2%	21.2%	24.1%	23.1%	26.1%	26.2%	25.5%	61.3%	54.7%	56.0%	59.1%	61.5%	61.6%	63.6%
関東	16.1%	26.2%	19.7%	15.6%	12.3%	25.8%	10.5%	24.4%	24.6%	28.5%	24.6%	31.6%	24.4%	26.7%	59.5%	49.2%	51.8%	59.8%	56.1%	49.7%	62.8%
中部	13.6%	24.5%	19.9%	16.1%	13.1%	10.4%	10.5%	23.7%	22.0%	21.9%	21.3%	28.5%	26.6%	24.6%	62.7%	53.6%	58.2%	62.6%	58.4%	63.0%	64.8%
近畿	16.0%	25.0%	21.2%	17.1%	13.4%	10.1%	9.3%	22.5%	20.6%	22.4%	21.7%	28.0%	27.5%	25.2%	61.5%	54.4%	56.4%	61.1%	58.5%	62.3%	65.5%
中国	12.0%	25.0%	20.2%	15.4%	12.9%	10.9%	11.6%	20.2%	18.4%	20.1%	20.8%	27.5%	27.6%	25.0%	67.8%	56.6%	59.7%	63.8%	59.6%	61.5%	63.4%
四国	13.4%	22.8%	17.3%	17.5%	13.7%	9.8%	12.6%	22.2%	22.6%	26.1%	19.6%	27.0%	26.1%	26.0%	64.4%	54.6%	56.6%	62.9%	59.3%	64.1%	61.5%
九州・沖縄	16.4%	24.0%	19.6%	17.4%	14.2%	12.1%	11.4%	22.0%	20.6%	21.8%	19.6%	25.1%	23.6%	23.9%	61.5%	55.5%	58.6%	63.0%	60.6%	64.3%	64.7%

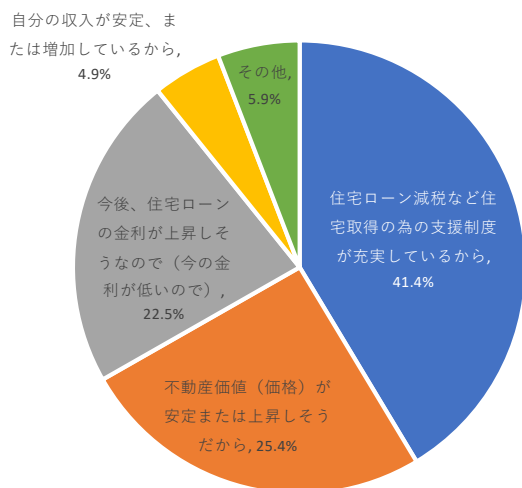
Q 1 - A. 買い時だと思う最も近い理由は何ですか？（1つ選択）（買い時だと思う人のみ）

- 「住宅ローン減税など住宅取得の為の支援制度が充実しているから」 41.4%（+4.8pt）
- 「不動産価値（価格）が安定または上昇しそうだから」 25.4%（+2.9pt）
- 「今後住宅ローンの金利が上昇しそうなので（今の金利が安いので）」 22.5%（-0.3pt）

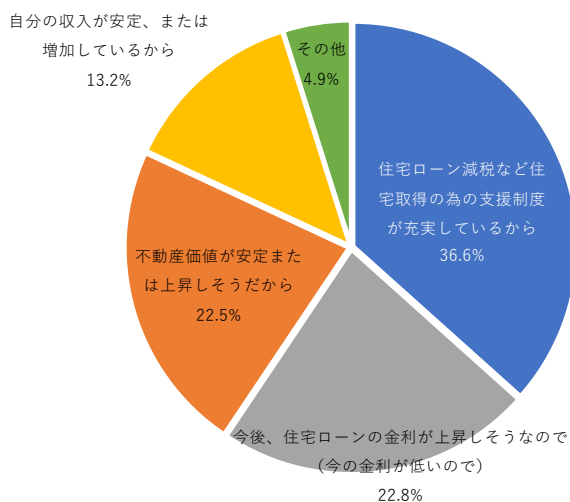
- ◆ 2020年度と比較し、1位の理由は変わらなかったが2位と3位が入れ替わる結果となった。
- ◆ 「自分の収入が安定、または増加しているから」は2020年度と比べて8.3pt減少し4.9%となった。
- ◆ 「不動産価値（価格）が安定または上昇しそうだから」の回答では、最多の四国と最小の中国で14.6ptもの差が出る結果となった。

<2021年度 不動産が買い時だと思う理由（買い時だと思う人のみ）>

<2021年度>



<2020年度>



	(N=)	住宅ローン減税など住宅取得の為の支援制度が充実しているから	不動産価値（価格）が安定または上昇しそうだから	今後、住宅ローンの金利が上昇しそうなので（今の金利が低いので）	自分の収入が安定、または増加しているから	その他
全体	2458	41.4%	25.4%	22.5%	4.9%	5.9%
■ 性別						
男性	1524	40.5%	25.1%	23.0%	5.4%	6.0%
女性	912	43.3%	26.0%	21.3%	4.2%	5.3%
その他	22	22.7%	18.2%	36.4%	4.5%	18.2%
■ 年代						
20代	194	43.3%	29.9%	19.1%	4.6%	3.1%
30代	420	50.0%	24.8%	16.7%	4.3%	4.3%
40代	619	44.6%	21.0%	26.2%	4.0%	4.2%
50代	555	40.4%	22.2%	24.0%	7.0%	6.5%
60代以上	670	33.3%	31.2%	22.4%	4.5%	8.7%
■ 地域						
北海道	132	43.2%	31.8%	16.7%	5.3%	3.0%
東北	138	36.2%	19.6%	31.2%	5.1%	8.0%
関東	942	40.2%	25.8%	23.5%	4.8%	5.7%
中部	423	42.6%	24.1%	23.6%	3.3%	6.4%
近畿	397	41.3%	28.2%	18.9%	5.3%	6.3%
中国	144	44.4%	17.4%	27.1%	6.3%	4.9%
四国	75	37.3%	32.0%	18.7%	6.7%	5.3%
九州・沖縄	207	45.9%	23.7%	18.4%	6.3%	5.8%

【2021年度 TOP3】

- 1 住宅ローン減税など税制優遇が実施されているから(41.4%)
- 2 不動産価値が安定または上昇しそうだから(25.4%)
- 3 今後、住宅ローンの金利が上昇しそうなので・今の金利が低いので (22.5%)

【2020年度 TOP3】

- 1 住宅ローン減税など住宅取得の為の支援制度が充実しているから (36.6%)
- 2 住宅ローンの金利が上昇しそうなので・今の金利が低いので (22.8%)
- 3 不動産価値が安定または上昇しそうだから (22.5%)

【2019年度 TOP3】

- 1 住宅ローン減税など消費税増税に係る支援制度が拡充されているか (51.1%)
- 2 住宅ローンの金利が上昇しそうなので・今の金利が安いので (23.4%)
- 3 不動産価値が安定または上昇しそうだから (18.0%)

【2018年度 TOP3】

- 1 消費税率が上がる前だから (45.0%)
- 2 住宅ローン減税など税制優遇が実施されているから (25.3%)
- 3 住宅ローンの金利が上昇しそうなので・今の金利が安いので (13.7%)

【2017年度 TOP3】

- 1 住宅ローン減税など税制優遇が実施されているから(34.5%)
- 2 住宅ローンの金利が上昇しそうなので・今の金利が低いので(23.2%)
- 3 消費税率が上がる前だから(22.3%)

【2016年度 TOP3】

- 1 住宅ローン減税など税制優遇が実施されているから(38.7%)
- 2 住宅ローンの金利が上昇しそうなので・今の金利が低いので(29.7%)
- 3 消費税率が上がる前だから(16.0%)

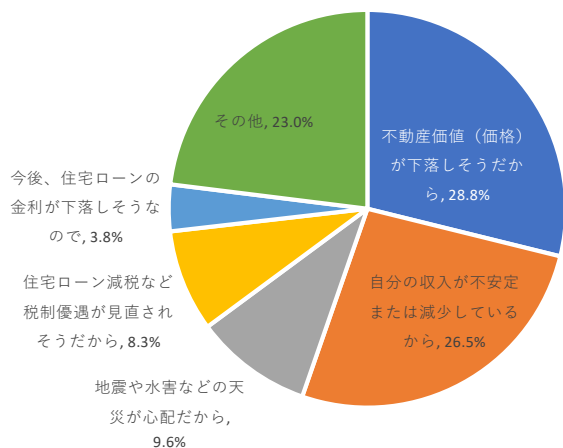
Q 1 - B. 買い時だと思わない最も近い理由は何ですか？（1つ選択）
（買い時だと思わない人のみ）

- 「不動産価値（価格）が下落しそうだから」が28.8%（-2.5pt）
- 「自分の収入が不安定または減少しているから」26.5%（+2.1pt）
- 「地震や水害などの天災が心配だから」9.6%（+1.4pt）

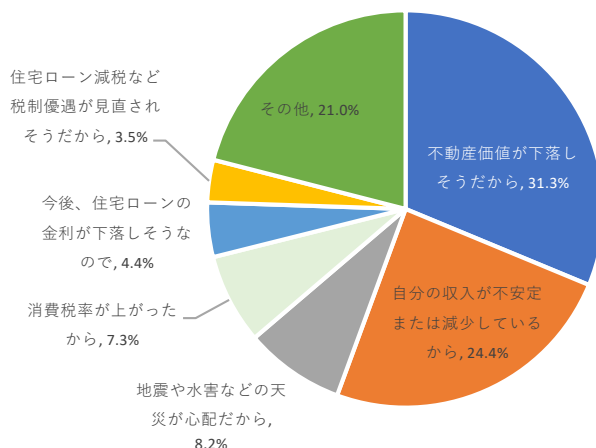
- ◆「不動産価値（価格）が下落しそうだから」は男女で9.7ptの差が開き、年代別では60代が最多となった。
- ◆「住宅ローン減税など税制優遇が見直されそうだから」が2020年度と比較して4.8pt増加の8.3%となり、年代では30代の回答が他の年代と比べて大幅に高い結果となった。
- ◆20代では「自分の収入が不安定または減少しているから」の割合が41.8%と他の年代よりも10pt以上高く、経済的な不安が強いことが見受けられた。

<2021年度 不動産が買い時だと思わない理由（買い時だと思わない人のみ）>

<2021年度>



<2020年度>



	(N=)	不動産価値（価格）が下落しそうだから	自分の収入が不安定または減少しているから	地震や水害などの天災が心配だから	住宅ローン減税など税制優遇が見直されそうだから	今後、住宅ローンの金利が下落しそうなので	その他
全体	5969	28.8%	26.5%	9.6%	8.3%	3.8%	23.0%
■性別							
男性	3959	32.2%	25.6%	8.1%	7.4%	3.4%	23.3%
女性	1940	22.5%	28.7%	12.1%	9.8%	4.3%	22.7%
その他	70	17.1%	14.3%	24.3%	18.6%	10.0%	15.7%
■年代							
20代	311	27.0%	41.8%	11.3%	9.0%	5.8%	5.1%
30代	789	24.5%	27.8%	14.1%	16.9%	5.7%	11.2%
40代	1263	28.1%	25.7%	11.2%	9.9%	4.0%	21.0%
50代	1650	27.3%	26.9%	8.3%	6.9%	3.5%	27.1%
60代以上	1956	32.7%	23.6%	7.5%	4.9%	2.8%	28.6%
■地域							
北海道	280	22.5%	23.2%	13.2%	6.8%	1.4%	32.9%
東北	324	26.2%	31.8%	10.8%	6.2%	3.1%	21.9%
関東	2407	32.2%	24.3%	8.7%	7.5%	3.9%	23.4%
中部	987	24.3%	28.4%	10.3%	13.2%	3.6%	20.2%
近畿	1072	28.2%	26.9%	8.8%	8.3%	3.7%	24.2%
中国	310	29.4%	27.4%	11.6%	6.1%	4.2%	21.3%
四国	155	27.1%	26.5%	9.0%	6.5%	8.4%	22.6%
九州・沖縄	434	28.6%	30.4%	9.9%	6.5%	3.9%	20.7%

【2021年度 TOP3】

- 1 不動産価値（価格）が下落しそうだから（28.8%）
- 2 自分の収入が不安定または減少しているから（26.5%）
- 3 地震や水害などの天災が心配だから（9.6%）

【2020年度 TOP3】

- 1 不動産価値が下落しそうだから（31.3%）
- 2 自分の収入が不安定または減少しているから（24.4%）
- 3 地震や水害などの天災が心配だから（8.2%）

【2019年度 TOP3】

- 1 不動産価値が下落しそうだから（26.8%）
- 2 自分の収入が不安定または減少しているから（21.0%）
- 3 消費税率が上がったから（16.6%）

【2018年度 TOP3】

- 1 不動産価値が下落しそうだから（29.8%）
- 2 自分の収入が不安定または減少しているから（23.1%）
- 3 地震や水害などの天災が心配だから（13.7%）

【2017年度 TOP3】

- 1 自分の収入が不安定または減少しているから（38.6%）
- 2 不動産価格が下落しそうだから（33.7%）
- 3 地震などの天災が心配だから（10.3%）

【2016年度 TOP3】

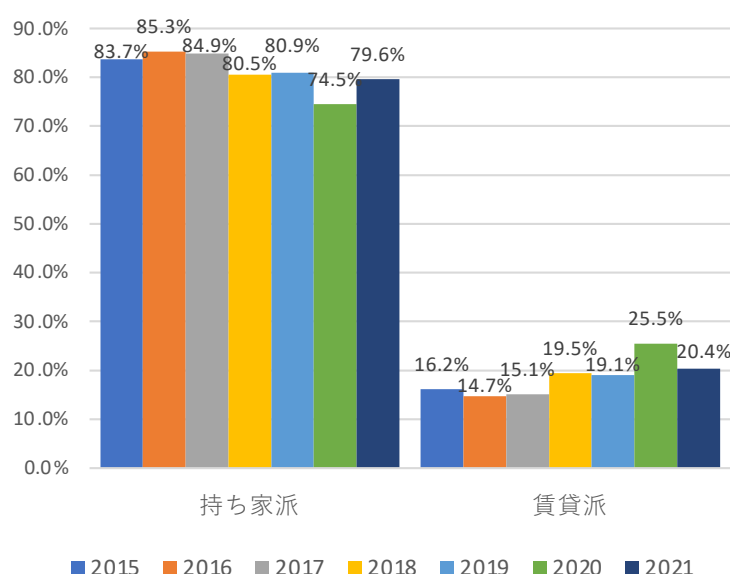
- 1 自分の収入が不安定または減少しているから（40.6%）
- 2 不動産価格が下落しそうだから（28.5%）
- 3 地震などの天災が心配だから（12.9%）

Q 2. あなたは「持ち家派」「賃貸派」どちらですか？（現在のお住まいに関係なく）
（1つ選択）

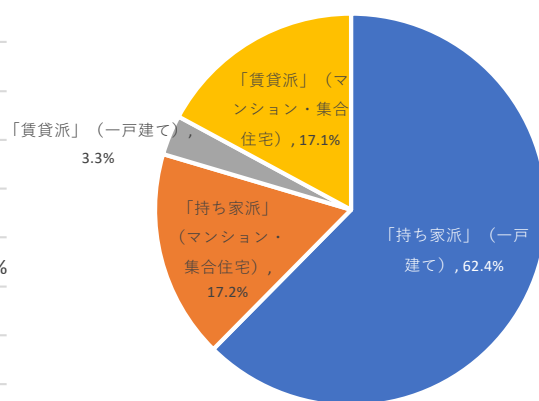
■「持ち家派」79.6%（+5.1pt）【一戸建て62.4%（+3.9pt）+ マンション17.2%（+1.2pt）】
■「賃貸派」20.4%（-5.1pt）【一戸建て3.3%（+0.3pt）+ マンション17.1%（-5.4pt）】

- ◆「持ち家派」は、2020年度から5.1pt増加し79.6%となり、全体の8割近くを占めた。
- ◆男女別では、2020年度に比べ男性は「持ち家派」、女性は「賃貸派」が増加した。
- ◆年代別では、全体的に「持ち家派」が増加したが、60代以上のみ「賃貸派」が増加した。
- ◆地域別では、2020年度に比べ大きな変動はなかったが、関東のみ「持ち家派」が10%以上増加した。

<2015年度～2021年度 持ち家派 or 賃貸派>



<2021年度 持ち家派 or 賃貸派 詳細内訳>



<2015年度～2021年度 持ち家派 or 賃貸派 : 年代/地域別>

	持ち家派							賃貸派						
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
全体	83.7%	85.3%	84.9%	80.5%	80.9%	74.5%	79.6%	16.2%	14.7%	15.1%	19.5%	19.1%	25.5%	20.4%
■性別														
男性	84.5%	85.9%	85.2%	81.6%	82.0%	72.9%	81.9%	15.6%	14.1%	14.9%	18.4%	18.0%	27.1%	18.1%
女性	82.8%	84.8%	84.7%	79.9%	80.1%	78.3%	76.6%	17.2%	15.2%	15.4%	20.1%	19.9%	21.7%	23.4%
その他	-	-	-	52.4%	59.2%	42.1%	55.5%	-	-	-	47.6%	40.8%	57.9%	44.5%
■年代														
20代	83.1%	85.9%	85.4%	79.8%	81.0%	53.3%	70.7%	16.9%	14.0%	14.6%	20.2%	19.0%	46.7%	29.3%
30代	82.4%	85.4%	85.0%	79.1%	81.7%	65.8%	75.8%	17.5%	14.6%	15.0%	20.9%	18.3%	34.2%	24.2%
40代	79.7%	82.5%	81.4%	76.8%	77.4%	69.4%	74.1%	20.4%	17.5%	18.6%	23.2%	22.6%	30.6%	25.9%
50代	84.1%	86.1%	85.3%	80.1%	78.8%	73.9%	78.4%	16.0%	13.9%	14.6%	19.9%	21.2%	26.1%	21.6%
60代以上	89.7%	89.3%	90.1%	85.9%	85.6%	87.1%	86.0%	10.2%	10.7%	10.0%	14.1%	14.4%	12.9%	14.0%
■地域														
北海道	79.0%	80.9%	77.9%	74.1%	75.4%	73.4%	73.2%	21.0%	19.1%	22.0%	25.9%	24.6%	26.6%	26.8%
東北	87.7%	87.9%	87.5%	82.0%	82.9%	79.2%	80.1%	12.3%	12.1%	12.6%	18.0%	17.1%	20.7%	19.9%
関東	82.3%	85.5%	84.8%	78.8%	79.7%	66.2%	78.4%	17.8%	14.5%	15.2%	21.2%	20.3%	33.8%	21.6%
中部	86.9%	87.8%	87.6%	84.3%	84.0%	84.6%	84.0%	13.1%	12.2%	12.4%	15.7%	16.0%	15.5%	16.0%
近畿	85.3%	83.5%	85.3%	81.8%	80.8%	79.9%	80.2%	14.7%	16.5%	14.7%	18.2%	19.2%	20.2%	19.8%
中国	82.3%	86.2%	87.4%	83.4%	83.3%	83.0%	81.0%	17.6%	13.7%	12.6%	16.6%	16.7%	17.0%	19.0%
四国	85.2%	85.1%	82.2%	84.4%	82.0%	84.7%	83.8%	14.8%	14.9%	17.8%	15.6%	18.0%	15.3%	16.2%
九州・沖縄	81.5%	82.6%	80.6%	76.2%	79.4%	77.8%	75.8%	18.5%	17.3%	19.4%	23.8%	20.6%	22.3%	24.2%

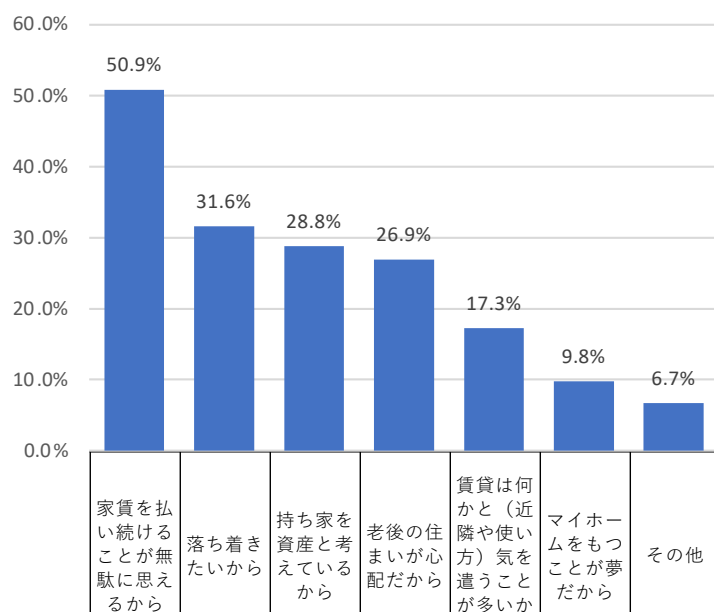
Q2-A. 「持ち家派」（一戸建て/マンション・集合住宅含む）の理由を教えてください。
（3つまで選択可）（持ち家派の人のみ）

■「家賃を払い続けることが無駄に思えるから」50.9%（+0.7pt）

■「落ち着きたいから」31.6%（-0.1pt）／「持ち家を資産と考えているから」28.8%（+0.8pt）

- ◆「家賃を払い続けることが無駄に思えるから」が50.9%と最も多く挙げられ過半数を超えた。
- ◆20ptほど差が開き「落ち着きたいから」が31.6%、「持ち家を資産と考えているから」が28.8%と続く。
- ◆2014年度以降、順位の変動はあるものの、上位3つの理由は変わっていない。
- ◆若い年代ほど「落ち着きたいから」、「賃貸は何かと（近隣や使い方）気を遣うことが多いから」、「マイホームをもつことが夢だから」の割合が高い傾向が見られた。

<2021年度 持ち家派 理由>



(N=)	18591	50.9%	31.6%	28.8%	26.9%	17.3%	9.8%	6.7%
全体								

性別								
男性	11760	49.3%	30.1%	29.1%	25.7%	15.1%	8.6%	7.8%
女性	6709	53.6%	34.4%	28.5%	29.2%	21.0%	11.9%	4.8%
その他	122	49.2%	33.6%	27.0%	18.0%	20.5%	9.8%	7.4%

年代								
20代	757	55.9%	40.6%	34.6%	15.2%	29.9%	36.7%	2.2%
30代	1934	59.3%	38.3%	35.2%	19.3%	27.7%	20.9%	3.3%
40代	3494	52.1%	34.4%	28.8%	23.6%	18.7%	11.0%	6.2%
50代	5190	49.4%	30.8%	24.8%	28.8%	16.3%	6.3%	7.6%
60代以上	7216	48.5%	28.2%	29.4%	30.5%	13.2%	5.9%	7.7%

地域								
北海道	843	45.7%	35.9%	22.1%	26.8%	21.8%	9.5%	5.8%
東北	1017	47.9%	38.7%	23.1%	23.4%	21.6%	11.5%	7.1%
関東	7060	50.5%	30.0%	31.4%	28.8%	16.0%	9.4%	6.9%
中部	3371	52.9%	33.9%	26.4%	25.0%	17.4%	10.3%	5.9%
近畿	3417	52.6%	28.6%	29.9%	25.6%	16.1%	9.2%	6.5%
中国	1005	51.3%	33.8%	26.9%	27.7%	17.4%	10.4%	7.5%
四国	500	50.6%	31.0%	23.8%	27.4%	19.2%	9.6%	8.2%
九州・沖縄	1378	48.3%	32.9%	30.5%	27.6%	19.5%	10.5%	7.5%

【2021年度 TOP3】

- 1 家賃を払い続ける事が無駄に思えるから(50.9%)
- 2 落ち着きたいから(31.6%)
- 3 持家を資産と考えているから(28.8%)

【2020年度 TOP3】

- 1 家賃を払い続けることが無駄に思えるから（50.2%）
- 2 落ち着きたいから（31.7%）
- 3 持家を資産と考えているから（28.0%）

【2019年度 TOP3】

- 1 家賃を払い続けることが無駄に思えるから（53.5%）
- 2 持家を資産と考えているから（32.1%）
- 3 落ち着きたいから（28.5%）

【2018年度 TOP3】

- 1 家賃を払い続けることが無駄に思えるから（52.9%）
- 2 落ち着きたいから（32.1%）
- 3 持家を資産と考えているから（30.9%）

【2017年度 TOP3】

- 1 家賃を払い続ける事が無駄に思えるから(63.1%)
- 2 落ち着きたいから(43.9%)
- 3 持家を資産と考えているから(39.4%)

【2016年度 TOP3】

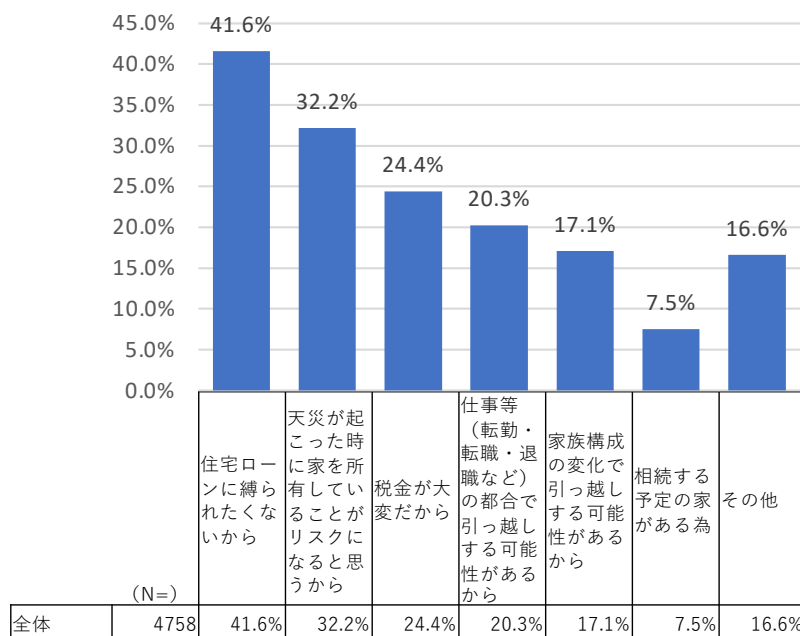
- 1 家賃を払い続ける事が無駄に思えるから(63.3%)
- 2 落ち着きたいから(42.7%)
- 3 持家を資産と考えているから(41.0%)

Q2-B. 「賃貸派」(一戸建て/マンション・集合住宅含む)の理由を教えてください。
(3つまで選択可) (賃貸派の人のみ)

- 最多は「住宅ローンに縛られたくないから」41.6% (+5.0pt)
- 「天災が起こった時に家を所有していることがリスクになると思うから」が32.2% (+2.0pt)
- 2020年度の1位「税金が大変だから」は24.4%で3位 (-12.7pt)

- ◆ 上位3つの理由は過去4年間順位の変動はあるものの変わっていない。
- ◆ 税金よりも住宅ローンや天災など将来のリスクについての意識が高まっていることが読み取れた。
- ◆ 若い年代ほど仕事や家族構成の変化による引っ越しを気にしていることが顕著に表れた。
- ◆ 地域別では、四国が「相続する予定の家がある為」が11.3%で最多。最小の北海道とは5.2ptの差。

<2021年度 賃貸派 理由>



■ 性別

男性	2607	41.7%	31.3%	21.9%	18.5%	14.3%	7.5%	18.5%
女性	2053	42.4%	33.3%	27.6%	23.0%	20.8%	7.5%	13.9%
その他	98	22.4%	33.7%	21.4%	9.2%	15.3%	8.2%	22.4%

■ 年代

20代	313	48.2%	31.0%	27.5%	49.5%	31.6%	5.4%	5.8%
30代	619	43.5%	31.0%	27.9%	35.4%	26.7%	8.4%	11.0%
40代	1222	39.6%	30.5%	24.5%	22.9%	17.7%	8.6%	15.7%
50代	1428	40.9%	32.5%	23.1%	15.5%	12.9%	7.1%	18.2%
60代以上	1176	41.7%	34.5%	23.1%	7.5%	12.8%	7.1%	21.5%

■ 地域

北海道	309	45.6%	30.7%	28.5%	16.8%	12.9%	6.1%	18.1%
東北	252	40.1%	36.1%	28.2%	20.6%	20.2%	7.5%	13.9%
関東	1944	40.5%	30.3%	21.8%	21.1%	16.8%	7.0%	18.1%
中部	640	45.2%	34.4%	30.3%	21.1%	20.5%	8.0%	13.6%
近畿	842	39.3%	35.7%	21.9%	17.6%	15.7%	7.7%	15.6%
中国	235	42.6%	28.9%	25.5%	22.6%	19.1%	10.6%	16.2%
四国	97	35.1%	37.1%	22.7%	20.6%	17.5%	11.3%	20.6%
九州・沖縄	439	44.2%	29.8%	26.9%	21.2%	16.4%	7.3%	16.4%

【2021年度 TOP3】

- 1 住宅ローンに縛られたくないから(41.6%)
- 2 天災が起こった時に家の所有がリスクになると思うから(32.2%)
- 3 税金が大変だから(24.4%)

【2020年度 TOP3】

- 1 税金が大変だから(37.1%)
- 2 住宅ローンに縛られたくないから(36.6%)
- 3 天災が起こった時に家の所有がリスクになると思うから(30.2%)

【2019年度 TOP3】

- 1 住宅ローンに縛られたくないから(41.5%)
- 2 天災が起こった時に家の所有がリスクになると思うから(35.6%)
- 3 税金が大変だから(24.5%)

【2018年度 TOP3】

- 1 住宅ローンに縛られたくないから(41.8%)
- 2 天災が起こった時に家の所有がリスクになると思うから(35.8%)
- 3 税金が大変だから(26.1%)

【2017年度 TOP3】

- 1 住宅ローンに縛られたくないから(59.0%)
- 2 仕事等の都合で引っ越しする可能性があるから(37.5%)
- 3 家族構成の変化で引っ越しする可能性があるから(31.6%)

【2016年度 TOP3】

- 1 住宅ローンに縛られたくないから(58.7%)
- 2 仕事等の都合で引っ越しする可能性があるから(39.5%)
- 3 家族構成の変化で引っ越しする可能性があるから(32.9%)

Q 3. 住宅を購入するときのポイントは何か？（3つまで選択可）

- 現実的な予算「購入金額」 55.9%（+2.4pt）
- 生活環境の重視「周辺・生活環境がよい」 45.3%（+2.0pt）
- 「交通の利便性がよい」 35.7%（-1.4pt）

- ◆ 「購入金額」が55.9%と最も多く挙げられ、次いで「周辺・生活環境がよい」が45.3%、「交通の利便性がよい」が35.7%と経済的負担と生活環境を重視していることが見受けられる。
- ◆ 「購入金額」は性別・年代・地域別全てにおいて1位になっている。
- ◆ 住宅の間取りや構造、広さなどハード面に関して、2020年度より大幅に下がっていることが分かる。
- ◆ 「地理的な災害リスクが低いこと」は中国が19.4%と最も高く、北海道が10.7%と最も低かった。

<2021年度 住宅購入重視点>



Q 4. 住宅を借りるときのポイントは何か？（3つまで選択可）

■ 2020年度と同様で最多は「家賃」70.3%（+4.6pt）

■ 生活環境の重視「交通の利便性がよい」45.2%（-1.1pt）／「周辺・生活環境がよい」35.5%（-5.1pt）

- ◆ 「家賃」が70.3%と最も多く2020年度よりも増加し、経済的意識が高まったことが読み取れる。
- ◆ 「交通の利便性がよい」が45.2%、「周辺・生活環境がよい」が35.5%と続き、間取りや日当たりなど物件情報よりも、住環境が重視されていることが見て取れる。
- ◆ 若い年代ほど商業施設など周辺・生活環境を重視し、60代以上は日当たりを重視していることが分かる。
- ◆ 「地理的なリスクが低いこと」は地域別の中で、東北と九州・沖縄が高いことが分かる。

<2021年度 賃貸住宅重視点>

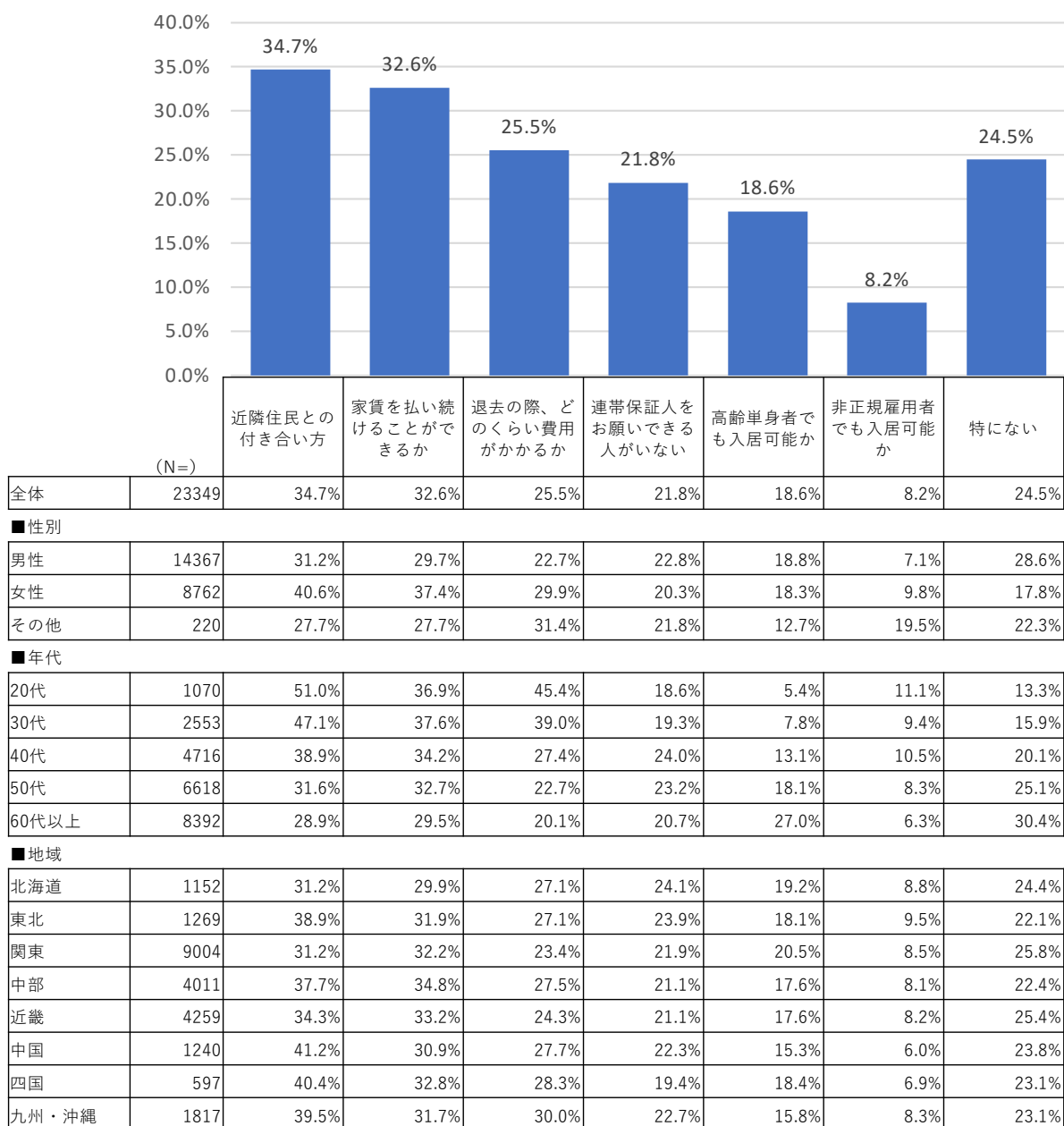


Q 5. 賃貸物件を借りる際、不安に感じることは何ですか？（3つまで選択可）

- 「近隣住民との付き合い方」が34.7%と最多
- 「家賃を払い続けることができるか」が32.6%

- ◆「近隣住民との付き合い方」に不安を感じるのは性別では女性、年代では若い年代ほど割合が高い傾向。地域別では中国が41.2%で最多。最小は北海道と関東で31.2%。
- ◆女性の方が不安を感じる傾向が強い一方で、男性が上回ったのは「連帯保証人をお願いできる人がいない」が2.5pt差で22.8%。
- ◆「退去の際、どのくらい費用がかかるか」では20代30代が特に不安を感じていることが読み取れる。

<2021年度 賃貸物件を借りる際の不安なこと>



Q 6. 天災に対する住まいの意識について当てはまるものを選択してください。

(3つまで選択可)

- 「築年数や構造（免震・耐震）について考えるようになった」 44.9% (+5.6pt)
- 「緊急避難場所や防災マップ・ハザードマップを意識するようになった」 39.3% (+4.1pt)
- 「地盤などの状況を意識するようになった」 31.0% (+4.1pt)

- ◆「緊急避難場所や防災マップ・ハザードマップを意識するようになった」は3年連続で増加。
- ◆「防災グッズを家に用意するようになった」は3年連続で減少し、地域別で見ると北海道が28.4%に対して、九州・沖縄は18.6%と9.8ptの差が見られた。
- ◆「保険の加入や見直しを行った」と「近隣とのコミュニケーションを重要視するようになった」は、性別では男性、年代別では60代以上の意識が高いことが見て取れる。

<2021年度 天災に関する住まいの意識>

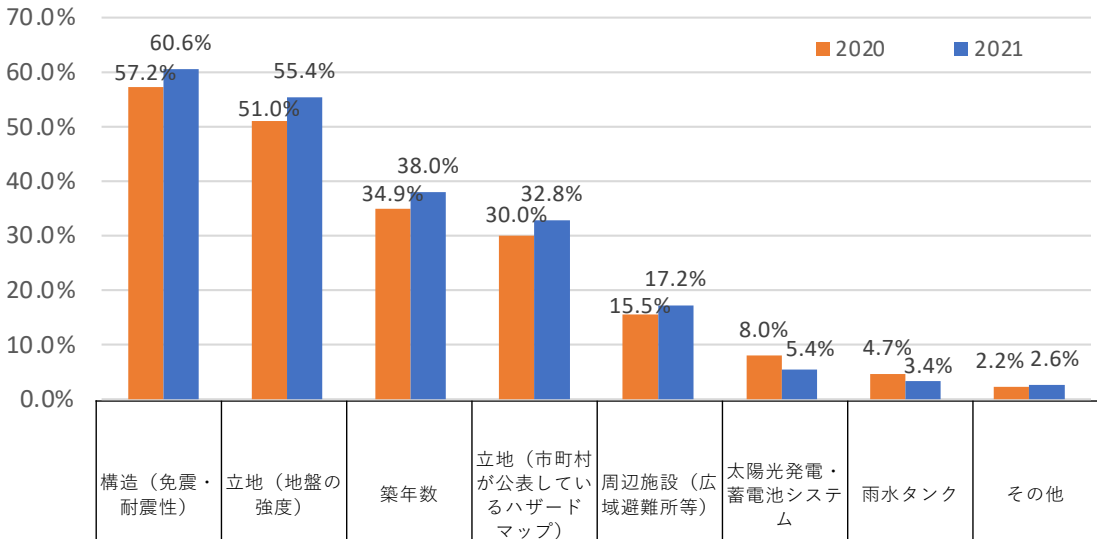


Q 7. 住まい選びの際、天災への対策として重要視するポイントは何ですか？
(3つまで選択可)

- 最多は「構造（免震・耐震性）」60.6%（+3.4pt）
- 「立地（地盤の強度）」55.4%（+4.4pt）／「築年数」38.0%（+3.1pt）
- 全体的に、2020年度より天災への意識が高まった傾向

- ◆ 2020年度と比べて各項目の増加が顕著にみられた。
- ◆ 性別では全体的に女性が高く、「太陽光発電・蓄電池システム」と「雨水タンク」の住宅設備においては、男性が高くなった。
- ◆ 「立地（市町村が公表しているハザードマップ）」年代では30代が40.9%、地域別では中国が37.4%で最多。

<2021年度 住まい選びで天災への対策として重要視するポイント>



(N=)		構造（免震・耐震性）	立地（地盤の強度）	築年数	立地（市町村が公表しているハザードマップ）	周辺施設（広域避難所等）	太陽光発電・蓄電池システム	雨水タンク	その他
全体	23349	60.6%	55.4%	38.0%	32.8%	17.2%	5.4%	3.4%	2.6%
■性別									
男性	14367	58.4%	53.0%	37.7%	31.4%	16.4%	5.5%	3.4%	3.0%
女性	8762	64.6%	59.8%	38.7%	35.3%	18.6%	5.2%	3.1%	1.8%
その他	220	43.2%	35.9%	26.4%	25.0%	19.5%	11.8%	15.5%	5.0%
■年代									
20代	1070	67.8%	53.6%	49.9%	34.5%	19.2%	6.4%	4.4%	0.7%
30代	2553	65.7%	56.7%	41.2%	40.9%	15.7%	6.4%	3.6%	1.4%
40代	4716	55.1%	52.9%	39.0%	33.7%	15.5%	6.2%	4.5%	2.8%
50代	6618	57.1%	52.6%	36.6%	31.4%	15.4%	5.2%	3.9%	3.2%
60代以上	8392	64.0%	58.9%	36.0%	30.8%	19.9%	4.8%	2.1%	2.6%
■地域									
北海道	1152	56.5%	54.3%	38.5%	29.6%	18.0%	6.2%	3.5%	3.1%
東北	1269	57.8%	57.7%	37.4%	32.2%	18.4%	5.4%	4.5%	2.8%
関東	9004	60.9%	57.8%	36.8%	32.9%	17.1%	5.4%	3.3%	2.6%
中部	4011	61.8%	54.1%	37.9%	34.3%	16.5%	6.1%	3.4%	2.3%
近畿	4259	61.9%	53.0%	39.6%	30.4%	17.3%	4.5%	3.4%	2.4%
中国	1240	57.3%	55.6%	35.7%	37.4%	17.3%	5.2%	3.1%	2.8%
四国	597	57.1%	51.1%	40.5%	30.7%	17.1%	6.2%	4.5%	3.2%
九州・沖縄	1817	61.1%	52.7%	41.1%	34.7%	18.1%	5.9%	2.7%	3.0%

Q 8. ハザードマップについてどの程度知っていますか？（3つまで選択可）

■ トップは「住んでいる地域のハザードマップを見たことがある」48.3%

■ 「不動産取引の際、水害ハザードマップの説明が不動産に義務付けられたことを知っている」と答えたのはわずか9.4%

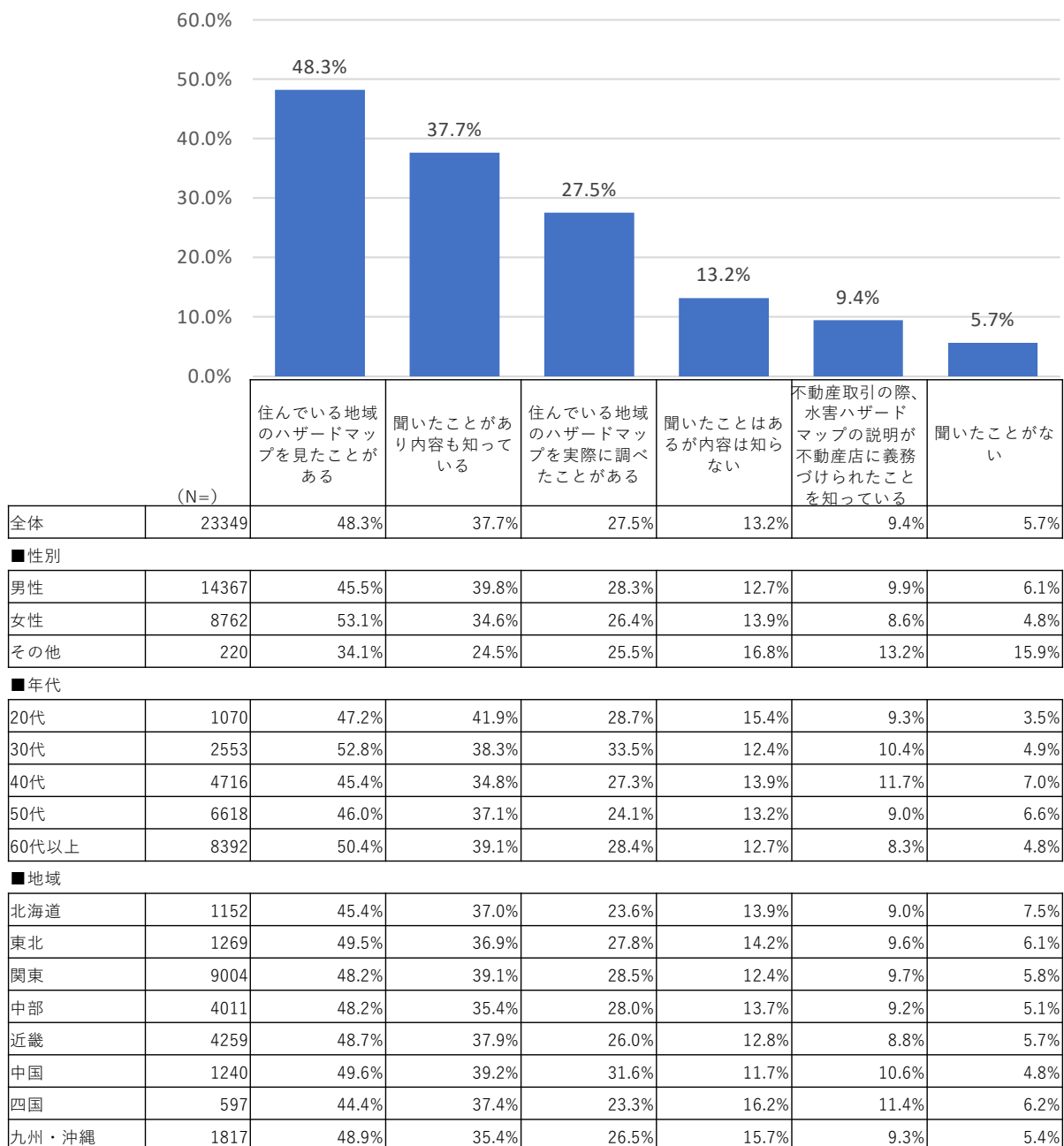
◆ 全体的に男性の方が認知・理解している割合が高い。

「住んでいる地域のハザードマップを見たことがある」では女性が男性を7.6pt上回った。

◆ 最も「聞いたことがあり内容も知っている」と答えた年代は20代で41.9%。

◆ 地域別で見ると「住んでいる地域のハザードマップを実際に調べたことがある」と「住んでいる地域のハザードマップを見たことがある」は中国が最多となった。

<2021年度 ハザードマップについての認知と理解>

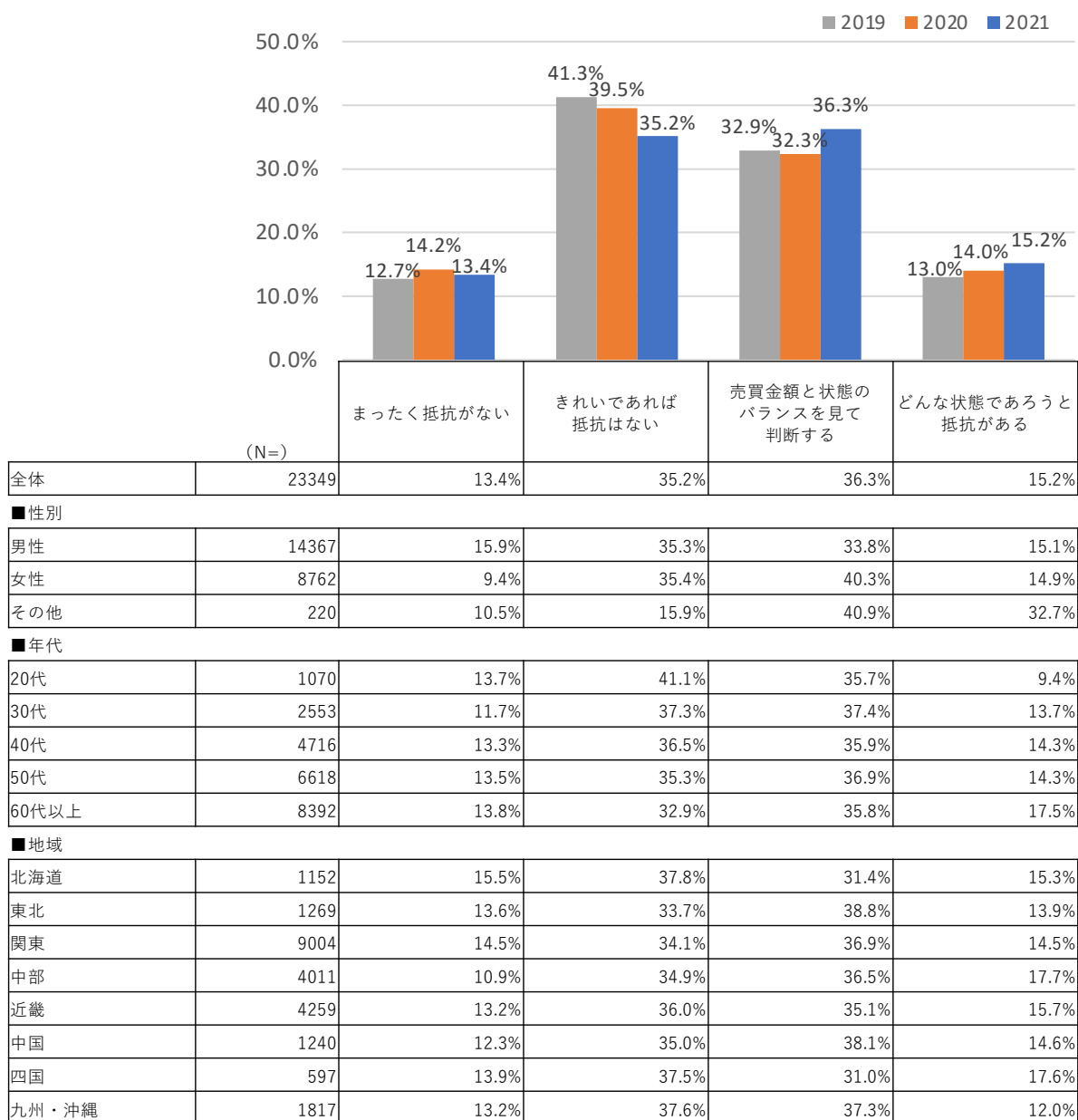


Q 9. 既存住宅（中古住宅）に抵抗はありますか？（1つ選択）

- トップは「売買金額と状態のバランスを見て判断する」 36.3%（+4.0pt）
- 「きれいであれば抵抗はない」 35.2%（-4.3pt）
- 「まったく抵抗がない」、「どんな状態であろうと抵抗がある」 はほぼ同水準

- ◆ 「まったく抵抗がない」が13.4%、「きれいであれば抵抗はない」が35.2%、あわせて48.6%（-5.1pt）と半数近くが抵抗感が薄い結果となった。
- ◆ 「まったく抵抗がない」は男性が女性を6.5pt上回る結果となった。
- ◆ 「きれいであれば抵抗はない」は2年連続で減少した。年代が上がるにつれて低くなる傾向が見られた。
- ◆ 条件次第の「売買金額と状態のバランスを見て判断する」は女性が男性を6.5pt上回った。
- ◆ 「どんな状態であろうと抵抗がある」は2年連続で微増する結果となった。

<2021年度 既存住宅（中古住宅）に関する抵抗感>

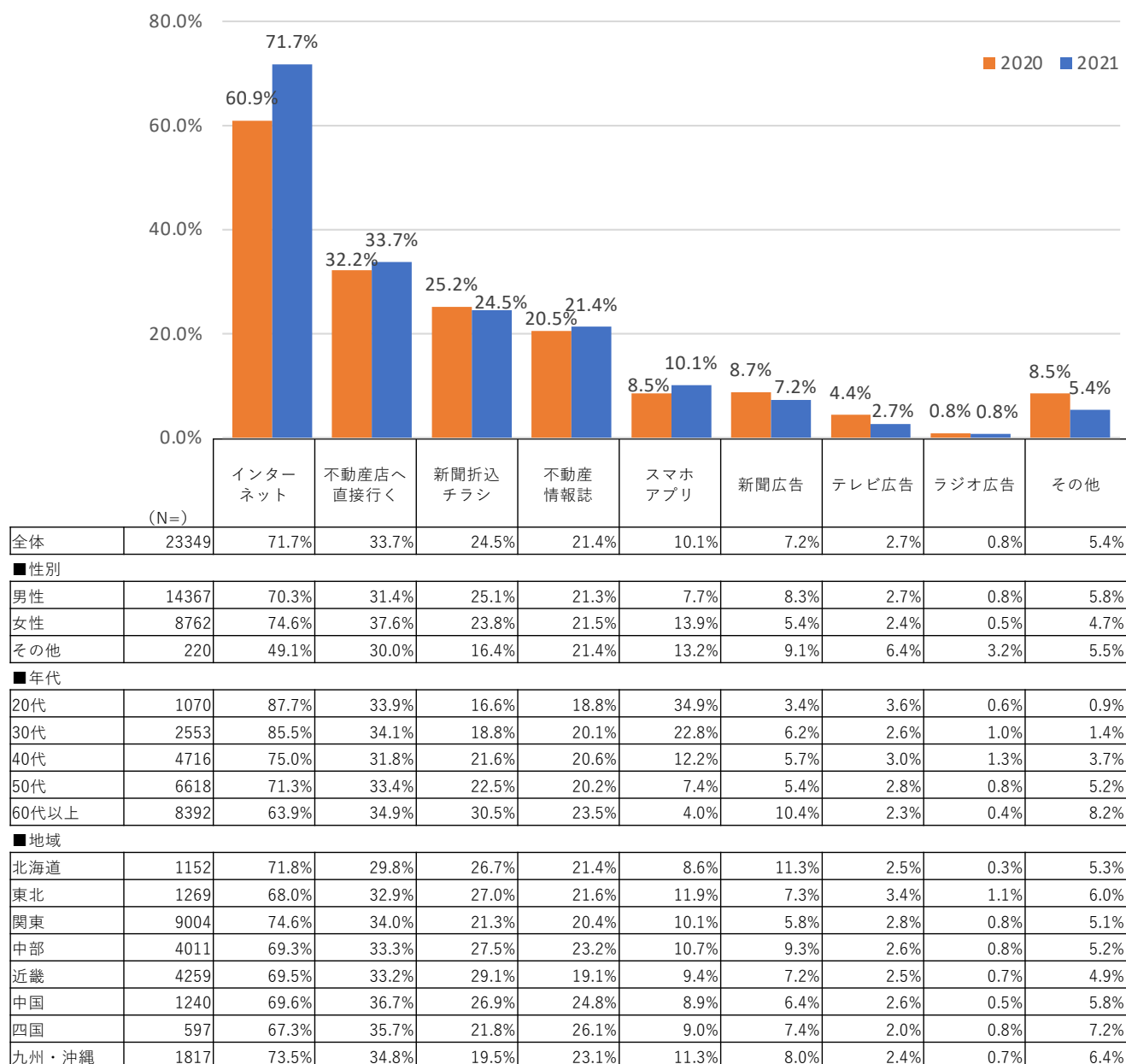


Q 10. 物件情報はどこから入手しますか？（3つまで選択可）

- トップは2位と倍以上の差「インターネット」71.7%（+10.8pt）
- 「不動産店へ直接行く」33.7%（+1.5pt）／「新聞折込チラシ」24.5%（-0.7pt）
- 2020年度対比で「スマホアプリ」が「新聞広告」を上回り逆転

- ◆ 「インターネット」は性別、年代、地域ともにトップ。完全に定着しているといえる。
- ◆ 2020年度対比でみると、「インターネット」「スマホアプリ」は増加、「新聞広告」「テレビ広告」は減少し、インターネット情報からの情報取得へ移行していることが読み取れる。
- ◆ 高い年代ほど「新聞折込チラシ」、「不動産情報誌」、「新聞広告」の紙媒体からの情報取得が根強い。
- ◆ 九州・沖縄の「新聞折込チラシ」の割合は19.5%で地域別でみると最も低い。
- ◆ 「新聞広告」で最も高いのは北海道で唯一2桁台の11.3%。

<2021年度 物件情報入手経路>



Q 1 1. 物件情報の入手の際、基本情報以外に「あると便利」な情報は何ですか？

(複数選択可)

- 「物件の写真」が20pt以上差をつけて67.9%でトップ (+2.0pt)
- 「周辺物件の相場」43.6% (-0.7pt)、ほぼ同率で「物件紹介の動画」31.6% (-1.2pt) と「物件の品質情報(省エネ・耐震等)」30.9%が続いている。

- ◆「物件の写真」は性別、年代、地域でトップ。
- ◆「エリアの年齢層や世帯層」は男性18.0%に対して女性が29.0%と11pt差で男女に大きな開き。
- ◆年代が高くなるにつれて「物件紹介の動画」は利用率が下がる傾向。
60代以上は「物件紹介の動画」よりも「物件の品質情報(省エネ・耐震等)」のほうが6.7pt高い。

<2021年度 物件情報の入手の際、基本情報以外に「あると便利」な情報>

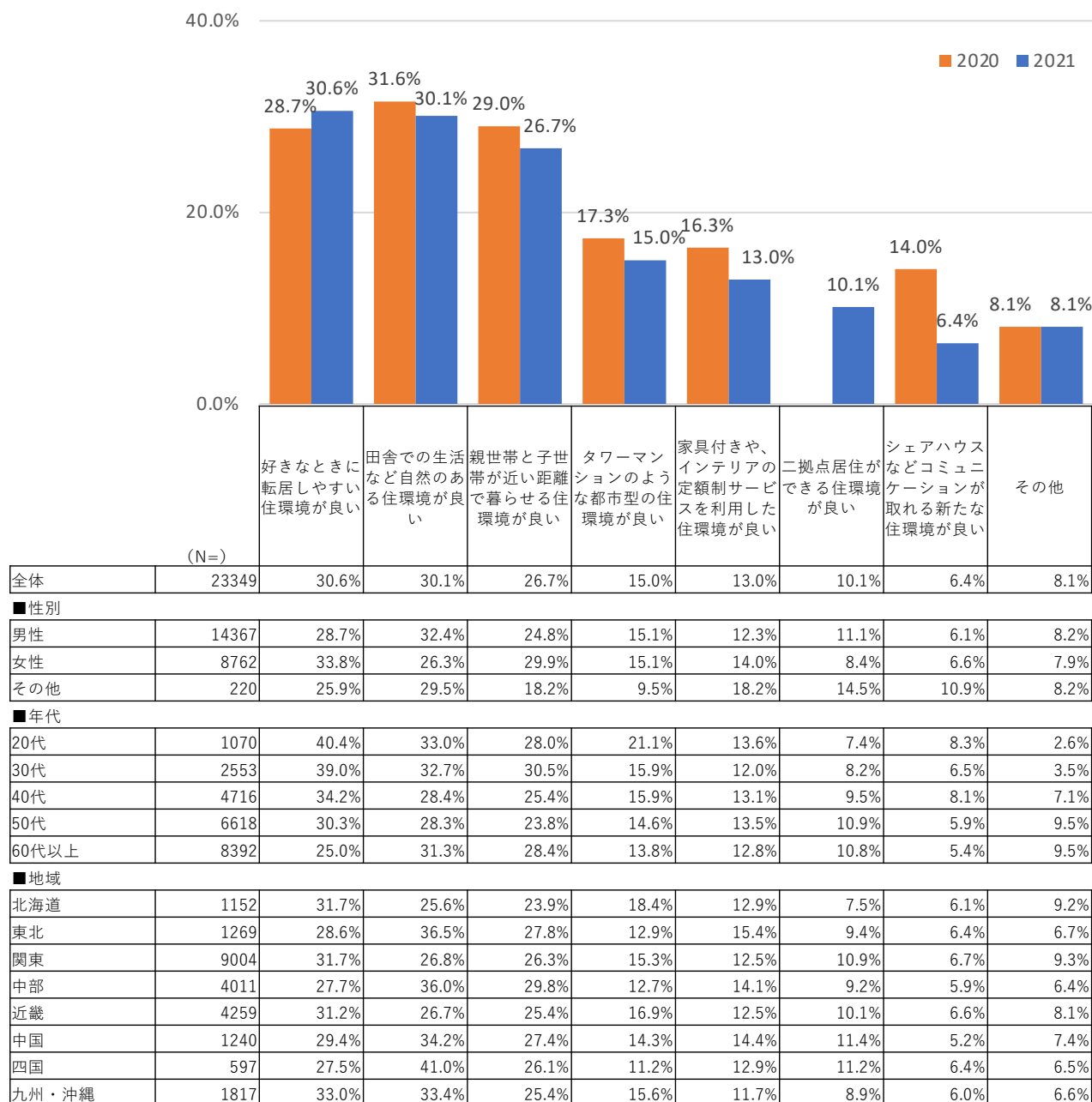


Q 1 2. あなたの住まいに対する考えに近いものをお答えください。（複数選択可）

- 2020年度3位の「好きなときに転居しやすい住環境が良い」が30.6%で1位（+1.9pt）
- 「田舎での生活など自然のある住環境が良い」30.1%（-1.5pt）
- 「親世帯と子世帯が近い距離で暮らせる住環境が良い」26.7%（-2.3pt）

- ◆ 若い年代ほど「好きなときに転居しやすい住環境が良い」が高い傾向。
- ◆ 「田舎での生活など自然のある住環境がよい」については、性別で見ると男性が32.4%でトップ、年代別で見ると唯一60代以上が31.3%でトップであった。また、地域別で見ると四国が41.0%でトップとなった。

<2021年度 住まいに対する考え>

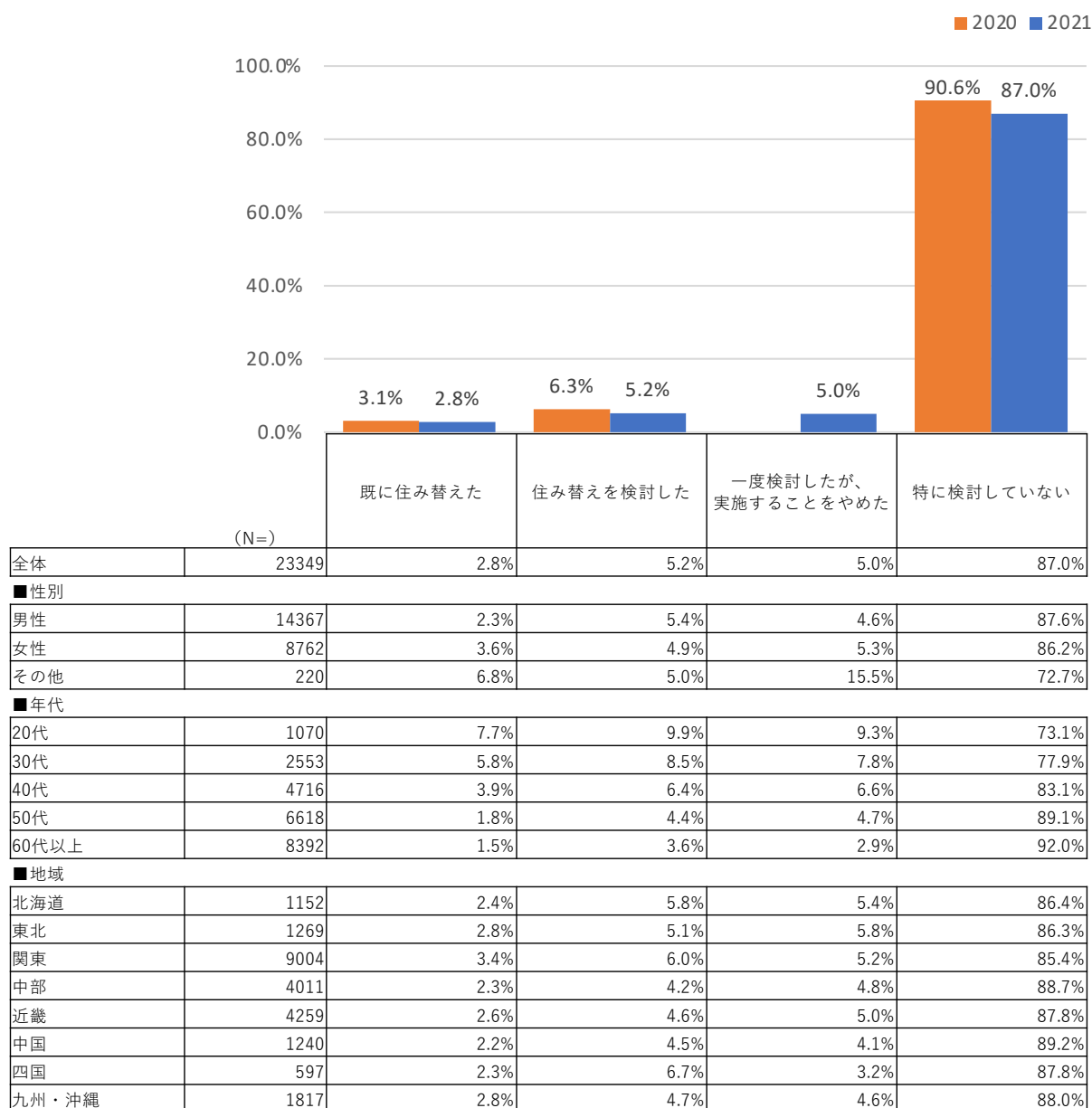


Q 13. 「新型コロナウイルス」の影響による緊急事態宣言下において住み替えを検討または実施しましたか？（1つ選択）

- 「特に検討していない」 87.0%で最多（-3.6pt）
- 「既に住み替えた」 は2.8%と少数ながら存在
- 「住み替えを検討した」 5.2%／「一度検討したが実施することを止めた」 5.0%

- ◆ 「住み替え」は若い年代ほど前向きに取り組んでいる傾向。
60代以上は「特に検討していない」92.0%。
- ◆ 「既に住み替えた」は20代は7.7%と60代以上に比べて5倍以上の結果となった。
- ◆ 地域別「既に住み替えた」関東が3.4%で最多。最少は中国の2.2%。

<2021年度 「新型コロナウイルス」の影響による、住み替えの検討・実施>



Q 1 3 - A. 住み替えを検討・実施された居住形態はどれですか？（1つ選択）

（住み替えを検討・実施した人のみ）

■ 最多は「持ち家から持ち家（新築）」25.2%

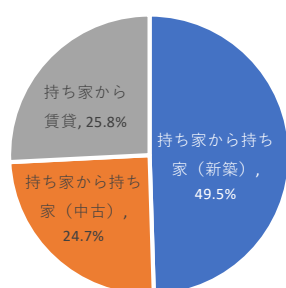
■ 「賃貸から賃貸」21.1%

■ それぞれ現状の形態を望む傾向

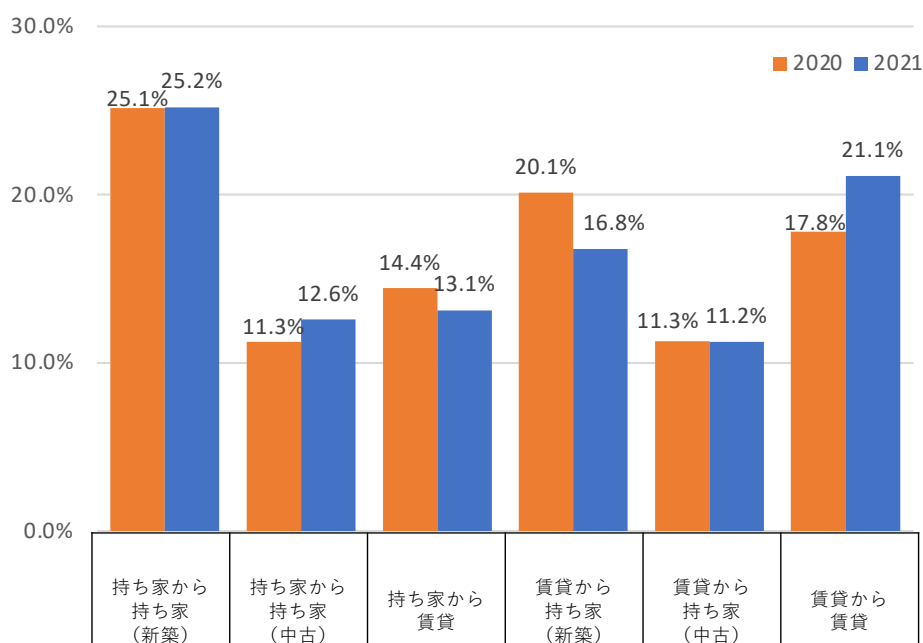
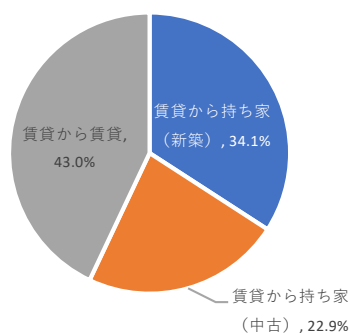
- ◆ 「持ち家から持ち家（新築）」「持ち家から持ち家（中古）」ともに年代が上がるにつれて高くなる傾向。20代に比べて60代以上は新築で2.3倍、中古で約3.4倍もの差が見られた。
- ◆ 「持ち家」への住み替えの検討・実施をみると、中古より新築の方が全体的に高いことがわかる
- ◆ 「賃貸から賃貸」は若い年代ほど高く、60代以上は12.0%に対して20代は37.8%と大きな差が見られた。

<2021年度 住み替えを検討・実施した居住形態（持ち家・賃貸）>

持ち家からの住み替え



賃貸からの住み替え



	(N=)	全体	持ち家から持ち家（新築）	持ち家から持ち家（中古）	持ち家から賃貸	賃貸から持ち家（新築）	賃貸から持ち家（中古）	賃貸から賃貸
全体	3041		25.2%	12.6%	13.1%	16.8%	11.2%	21.1%
■ 性別								
男性	1776		29.2%	14.5%	13.5%	13.9%	11.0%	17.9%
女性	1205		20.4%	10.0%	12.0%	20.5%	11.3%	25.8%
その他	60		3.3%	5.0%	25.0%	26.7%	18.3%	21.7%
■ 年代								
20代	288		16.0%	5.6%	10.1%	22.2%	8.3%	37.8%
30代	563		17.6%	7.1%	8.9%	25.4%	14.6%	26.5%
40代	795		19.4%	11.6%	17.1%	17.5%	11.8%	22.6%
50代	722		30.3%	14.4%	12.6%	13.4%	12.2%	17.0%
60代以上	673		36.8%	19.3%	13.8%	10.0%	8.0%	12.0%
■ 地域								
北海道	157		28.0%	10.8%	11.5%	12.7%	8.9%	28.0%
東北	174		16.7%	13.8%	18.4%	18.4%	13.8%	19.0%
関東	1311		23.6%	13.1%	12.6%	17.2%	11.7%	21.7%
中部	453		27.6%	8.2%	16.1%	16.6%	12.1%	19.4%
近畿	521		29.4%	14.6%	12.9%	15.0%	7.9%	20.3%
中国	134		27.6%	16.4%	11.9%	19.4%	13.4%	11.2%
四国	73		30.1%	11.0%	13.7%	20.5%	11.0%	13.7%
九州・沖縄	218		21.1%	11.9%	8.3%	17.4%	12.8%	28.4%

Q13-B. 住み替えを検討・実施された地域はどこですか？（1つ選択）

（住み替えを検討・実施した人のみ）

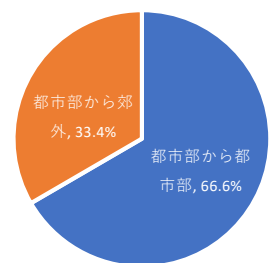
- 最多は「郊外から郊外」35.3%（-0.7pt）
- 「都市部から都市部」は32.7%（+2.1pt）
- ほぼ同率「都市部から郊外」16.4%（-1.0pt）／「郊外から都市部」15.6%（-0.4pt）

- ◆ 「都市部から都市部」20代は23.3%と最少。最多は40代で35.3%。
地域別で顕著に少なかったのが四国で15.1%。
- ◆ 「郊外から郊外」20代が最も多く41.7%。
- ◆ 「都市部から郊外」唯一の一桁台となり顕著に少なかったのが北海道で7.0%。

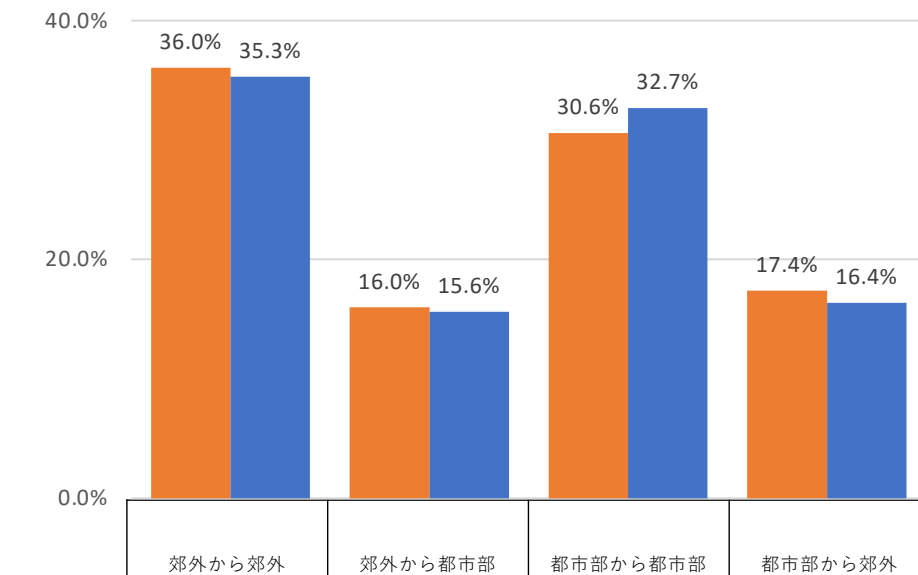
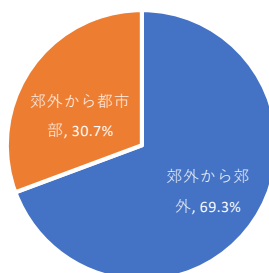
<2021年度 住み替えを検討・実施した地域>

都市部からの住み替え

2020 2021



郊外からの住み替え



(N=)

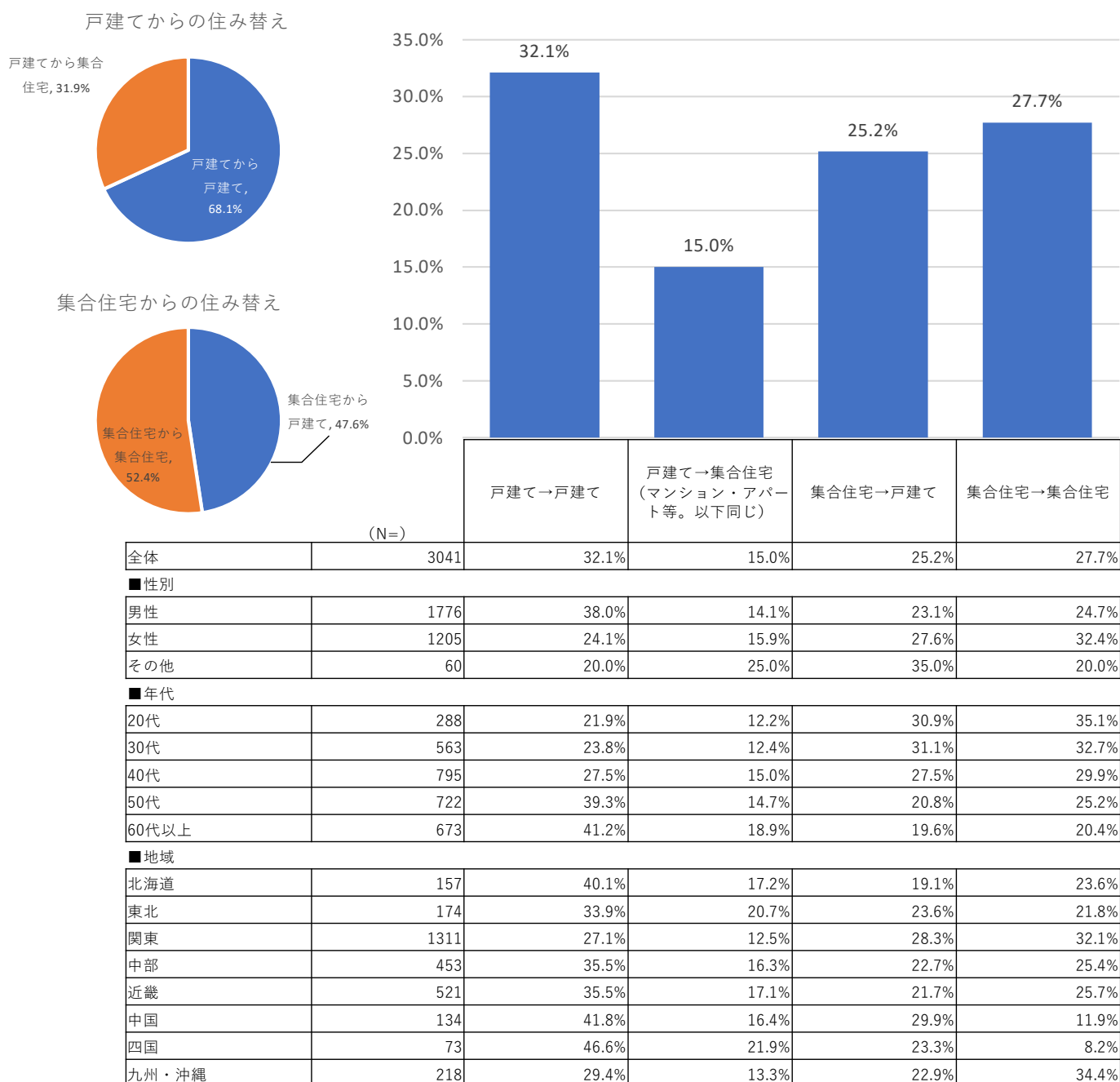
全体	3041	35.3%	15.6%	32.7%	16.4%
■ 性別					
男性	1776	37.9%	15.8%	31.0%	15.3%
女性	1205	32.2%	15.6%	34.6%	17.6%
その他	60	21.7%	10.0%	43.3%	25.0%
■ 年代					
20代	288	41.7%	15.6%	23.3%	19.4%
30代	563	33.6%	14.2%	33.6%	18.7%
40代	795	36.0%	14.0%	35.3%	14.7%
50代	722	35.5%	14.4%	32.7%	17.5%
60代以上	673	33.1%	20.1%	32.8%	14.0%
■ 地域					
北海道	157	42.0%	16.6%	34.4%	7.0%
東北	174	36.2%	21.3%	29.9%	12.6%
関東	1311	30.0%	12.2%	38.1%	19.7%
中部	453	45.3%	17.4%	21.6%	15.7%
近畿	521	36.3%	17.1%	34.4%	12.3%
中国	134	36.6%	23.1%	25.4%	14.9%
四国	73	42.5%	28.8%	15.1%	13.7%
九州・沖縄	218	35.8%	14.7%	30.3%	19.3%

Q13-C. 住み替えを検討・実施された住まいの形態は何ですか？（1つ選択）
（住み替えを検討・実施した人のみ）

- 最多は「戸建てから戸建て」32.1%
- 「集合住宅から集合住宅」27.7%
- 「集合住宅から戸建て」25.2%

- ◆ 「戸建てから戸建て」女性24.1%に対して男性38.0%と大きく上回る。
年代が上がるにつれて高くなる傾向。20代が21.9%に対して60代以上は41.2%。
- ◆ 「集合住宅から集合住宅」四国は最も少なく8.2%。最多は九州・沖縄で34.4%。
- ◆ 「集合住宅から戸建て」最多年代は30代で31.1%、次いで20代が30.9%。若い年代が目立つ。

<2021年度 住み替えを検討・実施した居住形態（戸建て・集合住宅）>



Q13-D. 住み替えを検討・実施された理由(重視された点)は何ですか？（3つまで選択）
（住み替えを検討・実施した人のみ）

- 「最寄りの駅からの距離」 32.4% (-0.9pt)
- 「ローンや賃料等、住宅費を抑えること」 27.4% (-5.8pt)
- 「通勤の利便性」 23.7% (-2.5pt)

- ◆ TOP3は2020年度調査と変わらず「最寄りの駅からの距離」「ローンや賃料等、住宅費を抑えること」「通勤の利便性」
- ◆ 「最寄りの駅からの距離」年代別で最多は60代以上で40.1%、地域別では近畿が38.0%で最多に対して、中国が22.4%と開きが大きい結果に。
- ◆ 20代でみるとトップは「働き方や環境の変化」が32.6%、「通勤の利便性」31.6%、「ローンや賃料等、住宅費を抑えること」が30.9%と続く。

<2021年度 住み替えを検討・実施した重視点>

■ 2020 ■ 2021



Q14. 「新型コロナウイルス」の影響により、住まいの設備で導入を検討・実施したものは何ですか？（複数選択可）

■「インターネット（Wi-Fi）環境」20.9%（-9.8pt）

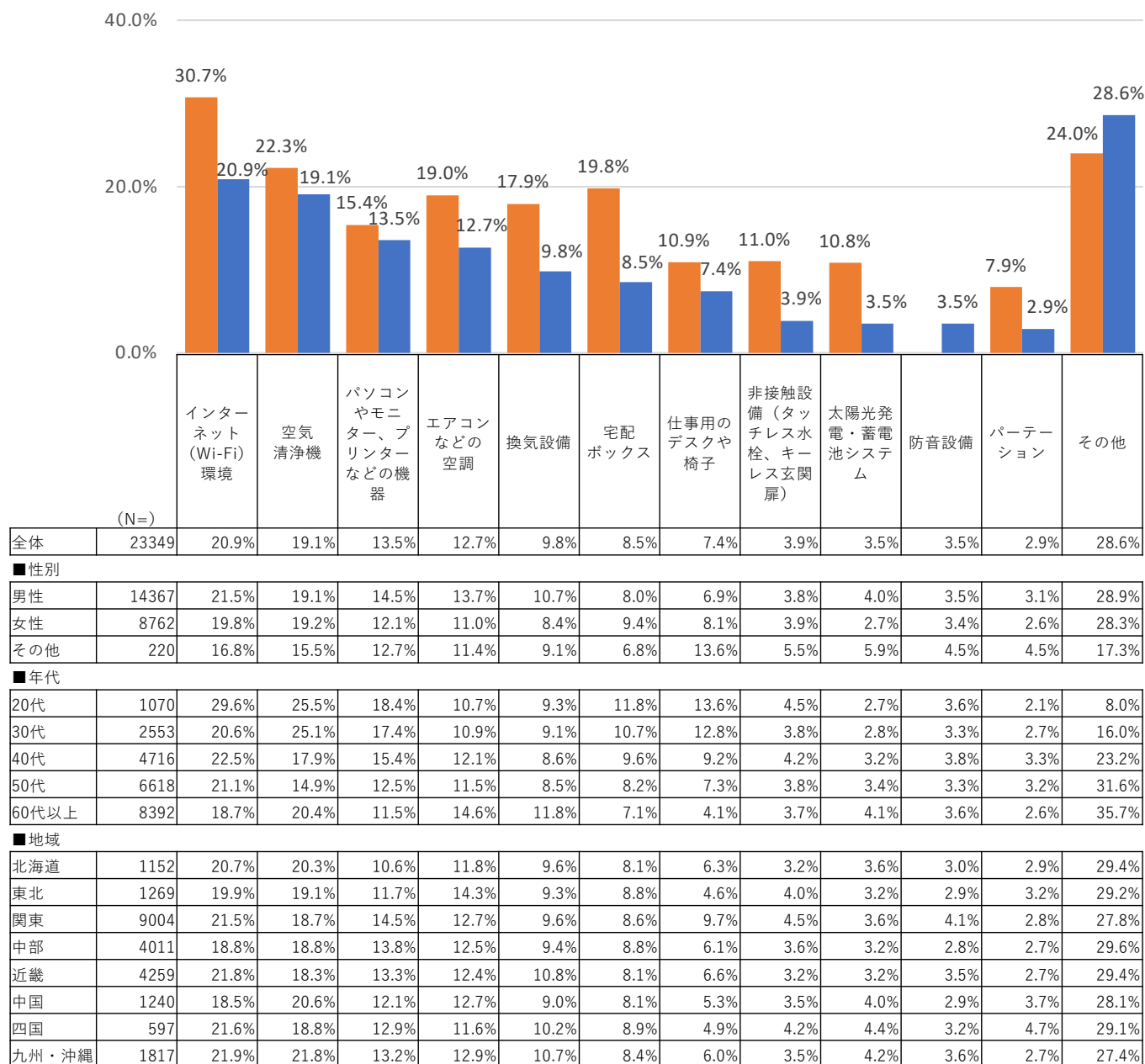
■「空気清浄機」19.1%（-3.2pt）

■「パソコンやモニター、プリンターなどの機器」13.5%（-1.9pt）

- ◆ 2020年度と比較するとトップ2は変わらないが、昨年3位だった「宅配ボックス」が大きく減少し、8.5%（-11.3pt）。
- ◆ 「インターネット（Wi-Fi）環境」は年代別でみると60代以上が一番低い結果となった。
- ◆ 「パソコンやモニター、プリンターなどの機器」「宅配ボックス」、「仕事用のデスクや椅子」は若い年代ほど高くなる傾向。

<2021年度 新型コロナウイルスの影響により導入した住まいの設備>

■ 2020 ■ 2021



Q15. 「新型コロナウイルス」の影響により、今後不動産店に対して期待するサービスは何ですか？（3つまで選択可）

■ TOPは「非接触で内見ができるセルフ内見」33.2%（-9.3pt）

■ 「チャットやWeb対話など、オンラインツールによる対応」28.2%（+12.6pt）は2020年度と比較して大きく増加した。

- ◆ 「非接触で内見ができるセルフ内見」特に女性の意向が強く38.9%。男性は29.8%。
- ◆ 「チャットやWeb対話など、オンラインツールによる対応」は若い年代ほど高い傾向。20代が46.4%に対して60代以上は21.6%と倍以上の差が見られた。
- ◆ 「契約書類などの電子化」男女差や地域差はあまり見られないが、若い年代ほど高い傾向。

<2021年度 新型コロナウイルスの影響により不動産店に期待するサービス>

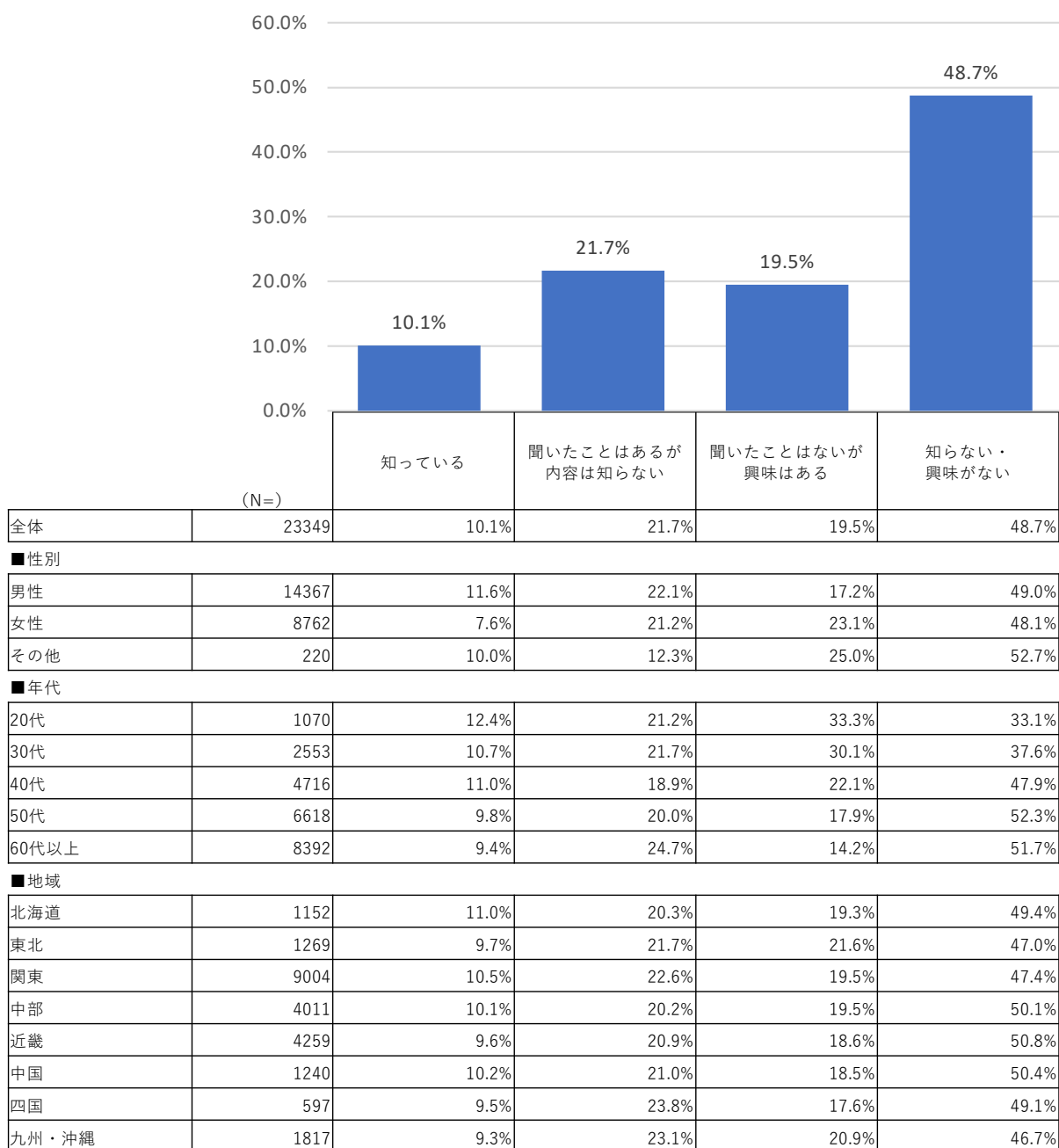


Q 1 6. 不動産取引における押印廃止、電子契約などが2022年5月より本格的に稼働することを
知っていますか？（1つ選択）

- 「知っている」と答えたのは10.1%と約1割に留まる
- 「知らない・興味がない」は48.7%と半数近くを占める

- ◆「知っている」女性が7.6%に対して男性が11.6%とやや上回る結果となった。
- ◆「聞いたことはないが興味はある」は若い年代ほど高い傾向
- ◆「知らない・興味がない」は年代が上がるほど高い傾向

<不動産取引における電子契約の本格稼働の認知と理解>



Q 17. あなたの不動産店に対するイメージとその理由をお答えください。（1つ選択）

■「良い・計」 23.8% (+0.7pt)

■「普通」 54.5% (+3.7pt)

■「悪い・計」 21.7% (-4.5pt)

- ◆ 若い年代ほど不動産店に対してポジティブなイメージを持っている傾向がみられた
- ◆ 「普通」は3年連続で増加する結果となった
- ◆ 「悪い・計」は2020年度と比較し-4.5pとなり改善傾向だが、「悪い」「とても悪い」は微増。

<2021年度 不動産店に対してするイメージ>



Q18. 家の売買や部屋の賃貸をするとき等、不動産店に対して最も期待することは何ですか？（1つ選択）

- ダントツの第1位は「優秀な担当者」41.3%（+4.1pt）、TOP3は2020年度調査とかわらず
- 「店舗の雰囲気が良い」15.0%（+0.4pt）
- 「ネット情報や口コミなどで評判が良い」10.6%（-1.1pt）

- ◆ 「優秀な担当者」は性別、年代、地域ともにダントツで多い結果となった。
- ◆ 「店舗の雰囲気が良い」は若い年代ほど期待する傾向がみられた。20代が19.3%に対して60代以上は12.4%。
- ◆ 「ネット情報や口コミで評判が良い」最も期待が低かった年代は40代で9.9%。唯一の一桁台となった。
- ◆ 「自宅から近い」は高い年代ほど期待している。20代5.0%に対して60代以上は11.6%と倍以上の差。

< 2021年度 不動産店に最も期待すること >



Q19. 家の売買や部屋の賃貸をするとき等、不動産店の担当者に対して最も期待することは何ですか？（1つ選択）

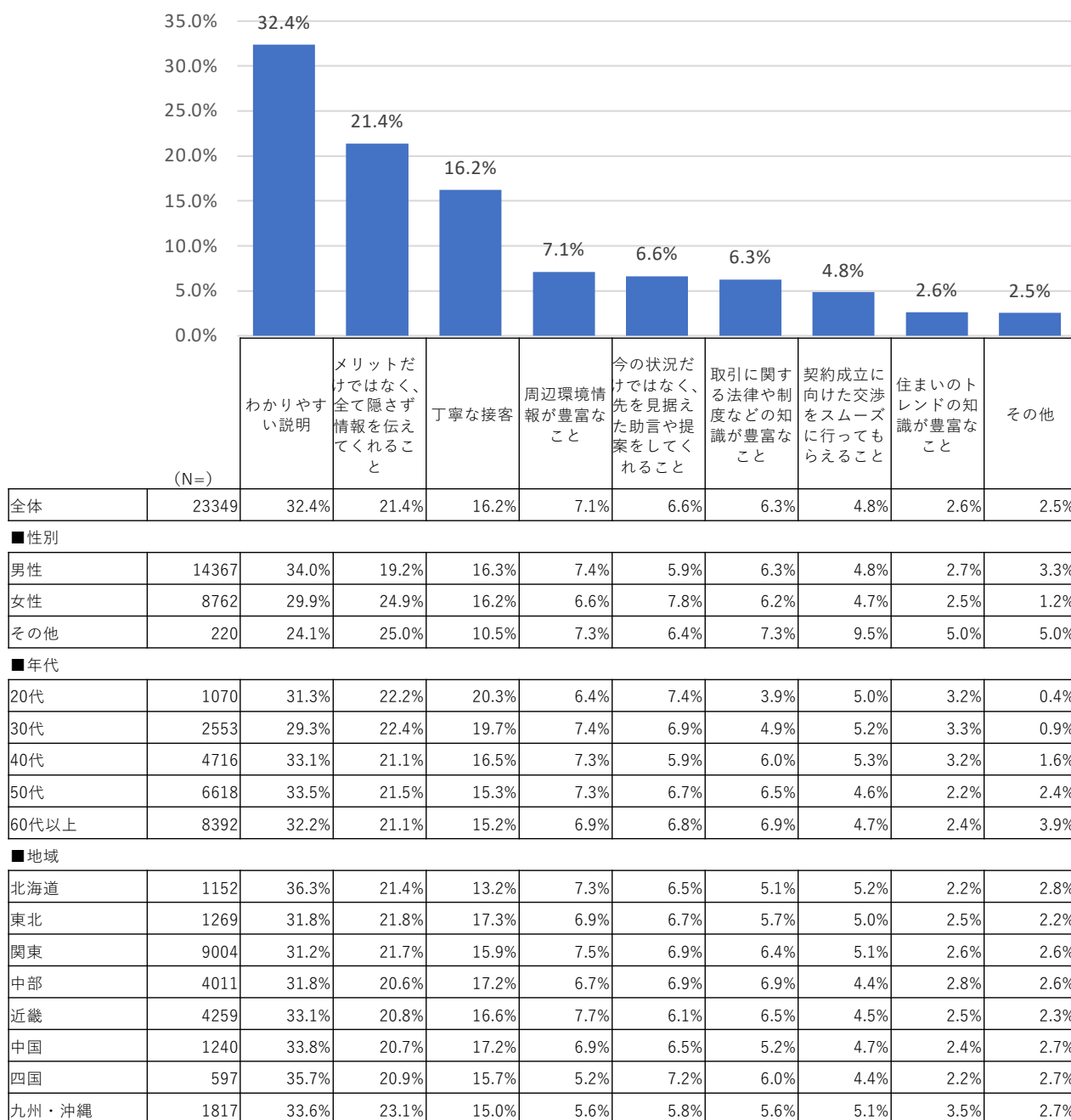
■「わかりやすい説明」32.4%

■「メリットだけではなく、全て隠さず情報を伝えてくれること」21.4%

■「丁寧な接客」16.2%

- ◆「わかりやすい説明」では、やや男性の期待が高い。女性29.9%に対して男性34.0%。
- ◆「メリットだけではなく、全て隠さず情報を伝えてくれること」は女性の期待が大きい。男性19.2%に対して女性は24.9%。
- ◆上位3つの理由以外はほぼ変わらない1割未満の同水準の結果となった。

< 2021年度 不動産店担当者に最も期待すること >



Q 20. 安全な不動産取引ができるお店の証、ハトマークを知っていますか？ （1つ選択）

- 「見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている」 33.0% (+8.0pt)
- 「見たことがあるが何のマークか知らない」 34.1% (-8.3pt)
- 「見たことがないし何のマークか知らない」 32.8% (+0.2pt)

- ◆ 2020年度調査と比較すると「見たこともあるし不動産店の信頼の目印であることも知っている」が大きく高まり、「見たことはあるが何のマークか知らない」が大きく下がった。認知から理解に移行している状況が伺える。
- ◆ 地域別で2020年度調査で最も認知率が高かった九州・沖縄は「見たこともあるし、不動産店の目印であることも知っている」は今年度もトップの49.6% (+6.4pt) と突出して高い結果となった。

< 2021年度 ハトマークの認知 >

